

平成 30 年度

主要施策の成果等報告書

※ 各分野の主な事務事業の成果を、総合計画の体系ごとに掲載しています。

令和 2 年 1 月

網 走 市

第1章 支え合い、安心して暮らせるまち

取組分野	担当部署	主な事業	ページ
保健医療	戸籍保険課 医療保険係	あばしり健康マイレージ事業	1
	健康推進課 健康推進係	胃がんリスク検診事業	
	健康推進課 健康推進係	新生児聴覚検査事業	
	健康推進課 保健衛生係	看護師・薬剤師確保対策支援事業	2
	健康推進課 保健衛生係	斜網地域周産期医療支援事業	
	健康推進課 保健衛生係	救急医療体制づくり事業	
	健康推進課 保健衛生係	24時間電話健康相談サービス事業	3
	戸籍保険課 医療保険係	国民健康保険特別会計	4
地域福祉	社会福祉課 庶務係	自立相談支援事業	5
	介護福祉課 高齢者福祉係	ひとり暮らし等高齢者緊急通報システム事業	
	介護福祉課 高齢者福祉係	高齢者除雪・融雪サービス事業	
	介護福祉課 高齢者福祉係	成年後見相談支援事業	6
	介護福祉課 高齢者福祉係	高齢者生活総合支援事業	
	商工労働課 商工労働係	女性・高齢者就労支援事業	
	介護福祉課 介護保険係	介護人材確保事業	7
	戸籍保険課 医療保険係	重度心身障がい者医療助成費	
	社会福祉課 障がい福祉係	居宅介護等給付事業	
	社会福祉課 障がい福祉係	就労継続支援給付事業	8
	社会福祉課 障がい福祉係	児童発達支援・放課後等デイサービス給付事業（2事業）	
	子育て支援課 こども家庭係	施設型給付費（幼稚園・認定こども園・私立保育所）（3事業）	
	子育て支援課 こども家庭係	市立保育所・へき地保育所管理運営事業（2事業）	9
	子育て支援課 こども家庭係	西部地区統合へき地保育所整備事業	
	子育て支援課 こども家庭係	潮見地区認定こども園整備事業補助金	
	子育て支援課 こども家庭係	北地区総合保育所整備事業補助金	10
	子育て支援課 こども家庭係	北地区児童センター整備事業補助金	
	子育て支援課 こども家庭係	こども医療助成費	
	介護福祉課 介護保険係	介護保険特別会計	11
	戸籍保険課 医療保険係	国民健康保険特別会計 ※再掲 第1章 保健・医療	12
	戸籍保険課 医療保険係	後期高齢者医療特別会計	13

28事業（延べ29事業）

第2章 快適で調和のとれたまち

取組分野	担当部署	主な事業	ページ
都市空間	水産漁港課 漁業振興係	能取漁港整備特別会計	14
都市基盤	都市整備課 建設係	棟梁長寿命化修繕事業	15
	都市整備課 建設係	市道・生活道路整備事業（2事業）	
	都市整備課 建設係	郊外地区道路整備事業	
	都市整備課 建設係	道路ストック修繕事業	16
	都市管理課 道路河川係	道路維持補修事業	
	都市管理課 道路河川係	除雪事業	
	都市管理課 道路河川係	除雪作業車整備事業	17
	都市整備課 建設係	歩道整備事業（補助事業）（4事業）	
	都市整備課 建設係	小学校通学路整備事業（単独事業）（5事業）	
	港湾課 港湾管理係	広域連携海外クルーズプロモーション事業	18
	港湾課 港湾管理係	大型客船入港検討事業	
	港湾課 港湾管理係	国際クルーズ旅客受入機能高度化事業	
	港湾課 港湾管理係	国直轄港湾整備事業負担金	19
	港湾課 港湾管理係	緑地整備事業	
	水産漁港課 漁業振興係	呼人漁港整備事業負担金	
	水産漁港課 漁業振興係	鱒浦漁港整備事業負担金	20
	都市整備課 計画係	網走川筋環境整備事業	
	企画調整課 企画係	J R北海道利用促進事業	
	観光課 広域観光推進係	地域連携釧網本線活用可能性調査事業	21
	情報政策課 情報政策係	公衆フリーWi-Fi環境整備事業	
生活安全	水産漁港課 漁業振興係	能取漁港整備特別会計 ※再掲 第2章 都市空間	22
	水産漁港課 漁業振興係	網走港整備特別会計	23
	都市管理課 道路河川係	河川整備事業	24
	総務防災課 防災係	土砂災害ハザードマップ作成事業	
	総務防災課 防災係	全国瞬時警報システム整備事業	
	総務防災課 防災係	避難所環境整備事業	25
	市民活動推進課 市民活動推進係	防犯灯管理事業	
	市民活動推進課 市民活動推進係	新一年生交通安全啓発グッズ配布事業	
環境	市民活動推進課 市民活動推進係	消費生活相談事業	26
	生活環境課 環境対策係	濤沸湖エコツーリズム推進事業	27
	市民活動推進課 市民活動推進係	花いっぱいのもちづくり推進事業	
	生活環境課 清掃リサイクル係	ごみ質調査事業	
	生活環境課 清掃リサイクル係	八坂処分場閉鎖事業	28
	生活環境課 環境対策係	地球温暖化対策推進事業	

取組分野	担当部署	主な事業	ページ
生活基盤	建築課 建築係	市営住宅建設事業	29
	建築課 建築係	高齢者世帯地域優良賃貸住宅建設促進事業	
	建築課 建築係	空き家等解体事業補助金	
	建築課 建築係	住環境改善補助金	30
	建築課 建築係	賃貸住宅家賃支援補助金	
	水産漁港課 漁業振興係	能取漁港整備特別会計 ※再掲 第2章 都市空間	31
	上水道課 上水道係	個別排水処理施設整備特別会計	32
	上水道課 上水道係	簡易水道特別会計	33
	下水道課 下水道係	公共下水道特別会計	34

42事業（延べ44事業）

第3章 にぎわいと活力にあふれるまち

取組分野	担当部署	主な事業	ページ
農林業	農林課 農業振興係	農業担い手実践研修支援事業	35
	農林課 農業振興係	安全・安心な農作物生産事業補助金	
	農林課 農業振興係	ジャガイモシロシストセンチュウ緊急防除事業	
	農林課 農業振興係	畜舎防疫事業補助金	36
	農林課 耕地林務係	道営担い手支援畑総事業分担金（5事業）	
	農林課 耕地林務係	鳥獣害防止対策事業	
	農林課 耕地林務係	農業農村多面的機能発揮促進事業	37
	農林課 耕地林務係	林地台帳システム整備業務	
	農林課 耕地林務係	森林整備補助金	
水産業	水産漁港課 漁業振興係	ナマコ中間育成試験事業	38
	水産漁港課 漁業振興係	ホッケイエビ資源増大試験研究事業	
	水産漁港課 漁業振興係	濤沸湖シジミ漁業再生事業補助金	
	商工労働課 商工労働係	「おいしいまち網走」PR事業	39
	水産漁港課 漁政係	北海道HACCP導入支援事業	
	水産漁港課 漁政係	水産加工フェスティバル開催事業	
観光	都市整備課 計画係	網走川筋環境整備事業 ※再掲 第2章 都市基盤	40
	観光課 観光振興係	外国人観光客インフォメーション事業	
	観光課 広域観光推進係	アドベンチャートラベル推進事業	
	観光課 広域観光推進係	外国人観光客誘致対策プロモーション事業	41
	観光課 広域観光推進係	網走バル魅力発信事業	
	観光課 観光振興係	オホーツク網走マラソン開催負担金	
	観光課 観光振興係	友好都市マラソン交流・PR事業	42
	観光課 広域観光推進係	国内宣伝PR事業	
	観光課 広域観光推進係	ひがし北海道空港連携海外観光客誘致事業	
	観光課 広域観光推進係	閑散期対策商品造成事業	43
	観光課 広域観光推進係	鉄道利用型観光客誘致促進事業	

取組分野	担当部署	主な事業	ページ
商工業	商工労働課 商工労働係	一般資金貸付事業	44
	商工労働課 商工労働係	起業化支援事業補助金	
	商工労働課 商工労働係	空き店舗・空き地活用事業補助金	
	商工労働課 商工労働係	再生可能エネルギー活用調査事業	45
	水産漁港課 漁業振興係	能取漁港整備特別会計	46
産業振興	商工労働課 商工労働係	U・Iターン就職推進事業	47
	商工労働課 商工労働係	地域コミュニティ交通対策事業	
	商工労働課 商工労働係	女性・高齢者就労支援事業 ※再掲 第2章 地域福祉	
	商工労働課 商工労働係	建築技能者等地域定着促進事業	48

33事業（延べ35事業）

第4章 みずから学び、ふれあいを大切にするまち

取組分野	担当部署	主な事業	ページ
学校教育	学校教育課 学務係	網走市読書感想文コンクール開催事業	49
	企画調整課 企画係	日体大高等支援学校入学支援補助金	
	企画調整課 企画係	日体大高等支援学校運営費補助金	
	学校教育課 学務係	学習支援員配置事業	50
	学校教育課 学務係	あばしり寺子屋開催事業	
	学校教育課 学務係	小中学校特別支援教育支援員配置事業（2事業）	
	学校教育課 学務係	子ども体力づくりサポート事業	51
	学校教育課 学務係	コミュニティースクール導入促進事業	
	学校教育課 庶務係	小中学校改修事業（2事業）	
	学校教育課 庶務係	小学校ICT教育環境整備事業	52
	学校教育課 学務係	小中学校校務支援システム管理事業（2事業）	
	学校教育課 学務係	小中学校教材教具費（2事業）	
社会教育	図書館 図書係	図書館資料整備事業	53
	社会教育課 生涯学習係	放課後子ども教室推進事業	
	社会教育課 生涯学習係	子ども夢育事業	
文化	美術館 管理係	若手アーティスト作品展示事業	54
	社会教育課 生涯学習係	クラシック音楽鑑賞会事業補助金	
	社会教育課 生涯学習係	オホーツク・文化交流センター芸術文化事業	
	博物館 管理係	博物館重要文化財指定推進事業	55
	博物館 管理係	博物館網走監獄耐震診断補助金	
スポーツ	スポーツ課 管理係	陸上競技場備品整備事業	56
	スポーツ課 管理係	バスケットゴール整備事業	
	スポーツ課 管理係	スポーツ・トレーニングフィールド遊具更新事業	
	スポーツ課 管理係	スキー場リフト改修事業	57
	スポーツ課 管理係	地域プール整備事業	
	スポーツ課 スポーツ振興係	「夢の教室」開催事業	
	スポーツ課 スポーツ振興係	東京オリパラホストタウン構想推進事業	58
交流	企画調整課 企画係	姉妹都市交流事業補助金	59

28事業（延べ28事業）

第5章 みんなで知恵を出し、いっしょにつくるまち

取組分野	担当部署	主な事業	ページ
地域協働	商工労働課 商工労働係	女性・高齢者就労支援事業 ※再掲 第2章 地域福祉	60
	市民活動推進課 市民活動推進係	網走市食品加工体験センター管理運営事業	
行政運営	財政課 管財係	市有財産整備特別会計	61
	水産漁港課 漁業振興係	能取漁港整備特別会計 ※再掲 第2章 都市空間	62

2事業（延べ4事業）

目標	1 一人ひとりを大切にするやさしいまち	取組分野	1.保健医療
----	---------------------	------	--------

事業名： あばしり健康マイレージ事業

担当部署： 戸籍保険課 医療保険係

年度	予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30	778	613					613
目的	対 象		意 図				
	40歳以上（平成31年3月31日現在）の市民		健康的な生活習慣の定着や自己の健康管理を推進することで、市民が自ら主体的に健康づくりに取り組み、心豊かに安心して暮らせるまちづくりを目指します。				
内取 容組	健康診断、各種がん検診、人間ドック・脳ドック及び市が実施する健康づくり事業等に参加した方に対しポイントを付与し、一定のポイントに達した方に賞品を授与します。						
実績	・達成者数：165名（国保112名、後期35名、社保等18名） ・賞品内容：野菜クーポン券（3千円分）						
方今 向後 性の	あばしり健康マイレージ事業を通じて、中・長期的に特定健康診査受診率の向上や疾病の早期発見による医療費の削減を目指します。						

事業名： 胃がんリスク検診事業

担当部署： 健康推進課 健康推進係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		539	366					366
目的	対 象			意 図				
	中学2～3年生			胃がん、慢性胃炎、胃潰瘍及び十二指腸潰瘍を引き起こす原因となるピロリ菌の早期保有検査により、発病リスクの低下を図ります。				
内取 容組	①検査希望者に対し一次検査として尿中抗体検査を行います。 ②一次検査の陽性者に対し二次検査として尿素呼気試験を行います。							
実績	①一次検査受診者数：215名、受診率： 51.9%（受診対象者：414名） ②二次検査受診者数： 15名、受診率：100.0%（受診対象者： 15名） 二次検査陽性者数：5名							
方今 向後 性の	胃がん、慢性胃炎、胃潰瘍、十二指腸潰瘍等の発病リスクの低下を図るため、継続して取り組みます。							

事業名： 新生児聴覚検査事業

担当部署： 健康推進課 健康推進係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		1,225	759					759
目的	対 象			意 図				
	新生児～生後6カ月未満の乳児			聴覚検査の受診を促進することにより、聴覚障がい早期発見・早期療育を図ります。				
内取 容組		出産医療機関等で概ね生後3日以内に実施する自動聴性脳幹反応（AABR）または耳音響反射（OAE）検査に係る費用の一部を助成します。また、確認検査に係る費用の一部も助成します。						
実績		①初回検査受診者数：203名、受診率：95.8%（受診対象者：212名） ②確認検査受診者数：6名、受診率：100.0%（受診対象者：6名） ③精密検査：2名（問題なし1名、要医療1名）						
方今 向後 性の		新生児の聴覚障がい早期発見・早期療育のため、継続して取り組みます。						

事業名： 看護師・薬剤師確保対策支援事業

担当部署： 健康推進課 保健衛生係

年度		予算現額	決算額	財源内訳				(単位：千円)
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		16,800	13,200				4,840	8,360
目的	対 象		意 図					
	修学資金貸与事業を実施している市内医療機関		市内の医療機関に従事する看護師・薬剤師の確保を図ります。					
内取 容組	独自に修学資金貸与事業（卒業後に貸与を受けた医療機関に一定期間以上従事した場合、貸与金の返済が免除されるもの）を行う市内の医療機関に対し、貸与額を月額2万円増額する場合、その増額分を助成します。							
実績	・被貸与者：56名（看護学生53名、薬学生3名） ・対象医療機関：3医療機関							
方今 向後 性の	助成を継続するとともに、修学資金貸与事業を実施していない医療機関に対しても当該制度の活用を促し、安定的な看護師・薬剤師の確保を図ります。							

事業名： 斜網地域周産期医療支援事業

担当部署： 健康推進課 保健衛生係

年度		予算現額	決算額	財源内訳					(単位：千円)
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源	
H30		22,200	22,200				9,335	12,865	
目的	対 象			意 図					
	市民、斜網地域住民			子どもを安心して産み育てることができるよう、周産期医療体制の確保を図ります。					
内取 容組	北海道厚生農業協同組合連合会が行う北海道大学病院と連携した医師確保対策に対し、斜網地域1市4町（網走市、斜里町・清里町・小清水町・大空町）で支援します。								
実績	北海道厚生農業協同組合連合会の医師確保対策に対する補助								
方今 向後 性の	引き続き、斜網地域1市4町で地域内の周産期医療体制の確保に取り組めます。								

事業名： 救急医療体制づくり事業

担当部署： 健康推進課 保健衛生係

年度		予算現額	決算額	財源内訳				(単位：千円)
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		59,609	55,064					55,064
目的	対 象		意 図					
	市民、斜網地域住民		市民をはじめとする地域住民の救命率向上や後遺症軽減を目指し、休日・夜間における救急医療体制の確保を図り、将来にわたって持続可能な救急医療体制を維持します。					
内取 容組	①休日・夜間当番医制の適切な運用と、市民に対する救急医療知識の普及啓発活動を行います。 ②大学病院等から医師を確保し、日曜、休日の内科系一次救急を担う休日内科急病センターを開設します。							
実績	①休日・夜間当番医制の運用委託（網走医師会） ・日曜・休日の当番医日数 73日 外科系：2医療機関、内科系：6医療機関（休日内科急病センター除く） ・夜間当番医日数 365日 外科系：3医療機関 ②休日内科急病センター 開設期間：38日間 ③市広報紙、市内フリーペーパー等による事業の周知							
方今 向後 性の	関係各機関との協定（平成23年度締結）に基づき、市内（一次救急）及び斜網地区（二次救急）の搬送体制が確立されていることから、コンビニ受診抑制等の適正な救急医療の利用について普及啓発を継続し、救急医療体制の維持に努めるとともに、今後も市内医療機関の負担軽減と日曜、休日の救急医療体制づくりに取り組みます。							

事業名： 24時間電話健康相談サービス事業

担当部署： 健康推進課 保健衛生係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		5,590	5,577					5,577
目的	対 象			意 図				
	市民			健康等に関する相談体制を充実・強化することで、コンビニ受診の抑止、救急医療及び救急車の適正利用を推進し、地域の救急医療体制の維持を図ります。				
内容		24時間365日いつでも、医師や看護師等の専門スタッフに電話で健康、医療、介護、育児等の相談ができる体制を構築します。						
実績		・相談件数：1,534件 ・市広報紙による事業の周知：特別掲載1回(7月)、通常掲載（毎月） ・事業周知リーフレットの全戸配布（10月）						
方今 向後 性の		本サービスを一層周知し、市民の健康に関する不安を軽減するとともに、地域の救急医療体制の維持に努めます。						

目標	1 一人ひとりを大切にするやさしいまち	取組分野	1. 保健医療
----	---------------------	------	---------

国民健康保険特別会計

目的	国民健康保険法に基づく医療保険として、被保険者への必要な保険給付及び健康の保持増進を図るため、国民健康保険事業の安定的かつ円滑な運営を行います。
主な取組内容	国民健康保険制度の安定的な運営 ①保険給付 / 医療費・療養費、・出産費、・葬祭費等の支払及び申請受付 ②資格管理 / 資格得喪等の受付、被保険者証の交付 ③国保料賦課及び徴収 / 収納率向上対策 ④保健事業の展開 / 特定健康診査、特定保健指導の実施 人間ドック、脳ドック受診の助成
主な実績	①保険給付（一般、退職の合算） ・保険給付費（療養給付費、療養費、高額療養費等の合算） H30年度 2,784,163千円 一人当たり 313.0千円 H29年度 2,818,621千円 一人当たり 307.4千円 ・出産育児一時金 H30年度 15,072千円（36件） / H29年度 22,212千円（53件） ・葬祭費 H30年度 1,410千円（47件） / H29年度 1,890千円（63件） ②資格管理（H30年度末時点） ・加入率（世帯） 29.1%（全世帯17,870世帯のうち5,199世帯） ・加入率（被保険者数） 25.2%（総人口34,898名のうち8,785名） ③国保料賦課及び徴収 ・H30年度保険料率 医療分の改定 所得割▲0.3% 資産割▲1.2% 平等割▲1.5千円 介護分の改定 所得割▲0.3% 資産割▲1.4% 均等割▲0.9千円 平等割▲0.9千円 - 医療分：所得割 6.0% 資産割 30.8% 均等割 27.5千円 平等割 24千円 限度額 580千円 支援分：所得割 2.2% 資産割 6.0% 均等割 9.5千円 平等割 7.5千円 限度額 190千円 介護分：所得割 1.7% 資産割 6.1% 均等割 12千円 平等割 6千円 限度額 160千円 ・現年度収納率 95.46%（H29年度 95.04% H28年度 94.56%） ・滞納繰越分収納率 22.90%（H29年度 19.37% H28年度 20.07%） ④保健事業の展開 ・特定健康診査の実施 H30年度 受診率 目標：28% 11月確定予定（※第2期データヘルス計画により目標再設定） H29年度 受診率 目標：60% 実績：23.4% H28年度 受診率 目標：55% 実績：25.4% ・人間ドックの受診助成 203件 ・脳ドックの受診助成 250件 ⑤その他 事務費、人件費、保険基盤安定制度による保険料軽減分、財政安定化支援事業分、出産育児一時金、保健事業分、福祉医療影響分など、一般会計からの繰入金は、407,480千円です。
今後の方向性	将来にわたり市民が安心して医療を受けることができるよう、安定的な制度運営に努めます。 ①資格管理、国保料賦課及び徴収、適用の適正化について ・今後も関係課と連携を図り、適正化に努めます。 （保険料収納及び所得申告：税務課 住民異動及び資格届出：戸籍保険課） ②保健事業の展開について ・引き続き各種がん検診、人間ドック、脳ドック助成事業を実施します。 ・特定健康診査及び特定保健指導を積極的に実施します。 また、未受診者には受診の勧奨を行います。 ③あばしり健康マイレージ制度（一般会計）の対象事業について ・被保険者の各種がん検診、人間ドック、脳ドック、特定健康診査及び特定保健指導の受診について、引き続き一般会計が実施する健康マイレージ制度の対象事業とします。 ④その他 国保の都道府県化の開始を受け、道との連携を図りながら健全な運営に努めます。

目標	1 一人ひとりを大切にするやさしいまち	取組分野	2.地域福祉
----	---------------------	------	--------

事業名： 自立相談支援事業 担当部署： 社会福祉課 庶務係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		9,314	8,559	6,513				2,046
目的	対 象			意 図				
	生活困窮者（生活保護受給者を除く）			包括的かつ継続的な相談支援を実施し、生活困窮者の自立を図ります。				
内容組	網走市生活サポートセンターに相談支援員を配置し、生活困窮者の相談に対応します。							
実績	新規相談受付件数：59件（委託先：社会福祉法人網走市社会福祉協議会）							
方今向後性の	生活困窮者は潜在的であるため、地域や町内会・民生委員の団体等と連携し、地域への出張サービスなどを積極的に行い、包括的かつ継続的に自立を支援します。							

事業名： ひとり暮らし等高齢者緊急通報システム事業 担当部署： 介護福祉課 高齢者福祉係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		7,195	7,031				75	6,956
目的	対 象		意 図					
	緊急時に支援を必要とするひとり暮らし高齢者等の世帯		緊急時における迅速かつ正確な救援体制を整備することにより、ひとり暮らし高齢者等の生活不安の解消及び生命の安全を確保します。					
内容組		緊急時にボタンを押すだけで消防署に通報できる機器を貸与します。						
実績		・設置台数：44台 ・撤去台数：48台 ・更新台数：30台 ※平成30年度末設置台数：344台						
方今向後性の		引き続き、ひとり暮らし等高齢者の生活不安の解消を図ります。						

事業名： 高齢者除雪・融雪サービス事業 担当部署： 介護福祉課 高齢者福祉係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		4,055	2,536				730	1,806
目的	対 象		意 図					
	高齢者、身体障がい者または介護保険認定者を含む除雪能力の確保が困難な世帯		外出のための通路を確保することで閉じこもりを防止するとともに、緊急時における避難通路の確保により在宅生活での不安解消を図ります。					
内容組	対象となる世帯の玄関から道路までの除雪・融雪作業を安価な料金で行います。 料金単価 通路のみ 除雪100円/30分、融雪300円/1時間（非課税世帯のみ） 通路及び車庫前等 除雪700円/30分（課税、非課税世帯）							
実績	・利用世帯数：215世帯（課税53世帯、非課税162世帯） ・延べ利用回数：1,696回（課税世帯325回、非課税世帯1,371回）							
方今向後性の	引き続き、高齢者等の冬期生活の不安解消を図ります。							

事業名： 成年後見相談支援事業

担当部署： 介護福祉課 高齢者福祉係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		6,440	6,400		1,672			4,728
目的	対 象			意 図				
	認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が不十分な方			認知症などにより判断能力が不十分な方が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、市民及び関係機関と連携して福祉の向上を図ります。				
内 取 容 組		後見実施機関（生活サポートセンターらいと）を設置し、成年後見制度等の権利擁護を支援します。						
実 績		・相談件数 : 84件 ・市民後見人等受任件数: 14件 ・市民後見人登録者数 : 17名						
方 今 向 後 性 の		引き続き、認知症などにより判断能力が不十分な方が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、市民及び関係機関と連携して福祉の向上を図ります。						

事業名： 高齢者生活総合支援事業

担当部署： 介護福祉課 高齢者福祉係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		18,487	16,959					16,959
目的	対 象			意 図				
	70歳以上で前年度市民税が非課税かつ、同一世帯に所得割課税者が属していない方			高齢者の積極的な社会参加・学習機会の確保・健康増進・生活支援を図ります。				
内取 容組	対象となる高齢の方に対し、バスやタクシーの運賃、公共施設の利用料、日帰り入浴料及び除雪サービス料等に使用できる年間6,000円分（100円券×60枚）の助成券を交付します。							
実績	・ 該当者数：3,666名 ・ 交付者数：3,237名（交付率 88.30%） ・ 使用枚数：169,589枚（使用率 87.32%）							
方今 向後 性の	引き続き、高齢者の積極的な社会参加、学習機会の確保、健康増進及び生活支援に取り組めます。							

事業名： 女性・高齢者就労支援事業

担当部署： 商工労働課 商工労働係

事業名：女性・高齢者就労支援事業			担当部署：高一生協課 高一生協課 高一生協課				
年度	予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30	350	325					325
目的	対 象		意 図				
	女性及び高齢者、企業者		労働力の確保に向けて、女性と高年齢者の就労を促進します。				
内取 容組	①女性の就労や起業を促進する内容のセミナーを開催する団体を支援します。 ②概ね55歳以上の男女を対象に、合同企業説明会を開催します。						
実績	①つながろうオホーツク女性のおしごと見本市（4月28日開催） 講師：安西 ゆかり氏 参加者数：120名 主催：オホーツクキャリアデザインフォーラム実行委員会 ②高年齢者向け合同企業説明会（8月18日開催） 参加事業所数：9社 参加者数：27名 雇用実績：4名（9社のうち4社で各1名雇用）						
方今 向後 性の	網走商工会議所及び網走公共職業安定所等と連携し、女性や高年齢者の就労意識の高揚を図り、労働力の確保に努めます。						

事業名： 介護人材確保事業

担当部署： 介護福祉課 介護保険係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		662	444					444
目的	対 象			意 図				
	高齢者及び介護事業者			高齢者人口の増加が見込まれるため、質の高い介護サービスを提供できる人材の確保を図ります。				
内取 容組		介護人材の確保に向けて、関係機関と意見交換会を開催するとともに、離職防止・定着促進に向けた事業を行います。						
実績		①ヘルパー事業所との意見交換会（開催回数：2回） ②新人介護スタッフ研修会の開催（参加者：57名、開催回数：1回） ③介護職員初任者研修費用の補助（助成人数：7名） ④介護のしごと 見学研修会（参加者：2名）						
方今 向後 性の		引き続き、関係機関と連携し、介護人材の確保及び離職防止に取り組めます。						

事業名： 重度心身障がい者医療助成費

担当部署： 戸籍保険課 医療保険係

年度		予算現額	決算額	財源内訳				(単位：千円)	
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源	
H30		55,414	46,441		18,662		8,764	19,015	
目的	対 象			意 図					
	重度心身障がい者			重度心身障がい者の医療費負担の軽減を図ります。					
内取 容組	身体障害者手帳1・2級、3級（内部疾患）もしくは精神障害者保健福祉手帳1級の交付を受けた方、または重度の知的障がい者と判定・診断された方を対象に、医療機関受診時にかかる医療費の自己負担分を助成します。 ①課税世帯／一部助成（中学生以下の入院・指定訪問看護利用のみ全額助成） ②非課税世帯及び3歳未満／全額助成								
実績	助成対象者数：695人（課税291人、非課税403人、3歳未満1人） 助成件数／金額：11,332件／46,441千円 【内訳】入院：877件／18,574千円 入院外：6,613件／16,262千円 歯科入院：1件／15千円、 歯科入院外：780件／1,793千円 調剤：2,978件／8,751千円 指定訪問看護：34件／240千円 その他：49件／148千円 高額医療費：（19件）／658千円 （再掲）初診時一部負担金：566件／353千円								
方今 向後 性の	医療機関での受診機会の多い対象者の医療費負担軽減を図るため、北海道の医療助成事業を活用し、今後も継続して実施します。								

事業名： 居宅介護等給付事業

担当部署： 社会福祉課 障がい福祉係

年度			予算現額		決算額		財源内訳			(単位：千円)						
H30			64,030		60,735		国支出金		道支出金		地方債		その他		一般財源	
H30			64,030		60,735		23,958		18,988						17,789	
目的			対 象			意 図										
目的			支援を必要とする障がい者（身体・知的・精神）			在宅介護により障がい者の自立及び社会参加を促進します。										
内取容組			日常生活において介護が必要な障がい者宅にホームヘルパーを派遣し、家事や入浴、排せつ、食事などの介護サービスを行います。													
実績			・実利用者数：159名 ・延べ利用時間：15,881時間													
方今向後性の			障がい者総合支援法に基づくサービスであり、今後も継続して必要な支援に取り組みます。													

事業名： 就労継続支援給付事業

担当部署： 社会福祉課 障がい福祉係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		140,168	136,433	65,927	33,129			37,377
目的	対 象			意 図				
	支援を必要とする障がい者（身体・知的・精神）			就労に必要な知識や技能の向上を図り、障がい者の継続雇用化を図ります。				
内取 容組		働く場の提供と、就労に必要な知識や能力向上のための訓練を行います。						
実績		①就労継続支援A型 実利用者数： 32名 利用日数： 3,604日（4月に1事業所が開所） ②就労継続支援B型 実利用者数：103名 利用日数：15,837日（8月に1事業所が指定取消）						
方今 向後 性の		障がい者総合支援法に基づくサービスであり、今後も継続して必要な支援に取り組みます。						

事業名： 児童発達支援・放課後等デイサービス給付事業（2事業） 担当部署： 社会福祉課 障がい福祉係

年度		予算現額	決算額	財源内訳					(単位：千円)
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源	
H30		119,941	108,563	53,864	26,060			28,639	
目的	対 象			意 図					
	支援を必要とする障がい児及びその保護者			発達の遅れや障がいを持つ児童に対して、日常生活や集団生活への適応する訓練等の機会を確保します。					
内取 容組	①児童発達支援：就学前の児童を対象に、日常生活における基本的な行動や集団生活への適応訓練を実施します。 ②放課後等デイサービス：小学生から高校生までの児童・生徒を対象に、放課後等の居場所を提供します。								
実績	①児童発達支援 延利用人数：1,186名 利用日数：4,656日（市内3事業所） ②放課後等デイサービス 延利用人数： 756名 利用日数：7,958日（市内2事業所）								
方今 向後 性の	児童福祉法に基づくサービスであり、今後も継続して必要な支援に取り組みます。								

事業名： 施設型給付費（幼稚園・認定こども園・私立保育所）（3事業） 担当部署： 子育て支援課 こども家庭係

年度		予算現額	決算額	財源内訳				(単位：千円)
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		538,816	486,945	159,077	127,861		22,344	177,663
目的	対 象			意 図				
	児童の保護者			健康で安定した環境の中で児童の健全な発達と幼児教育の充実を図ります。				
内取 容組		国の子ども・子育て支援新制度に基づく保育等に係る経費の一部を児童の保護者に支給します。						
実績		園児数（4月1日現在） ・私立幼稚園（4園）：289名 ・認定こども園（2園）：301名 ・私立保育所（1園）：65名						
方今 向後 性の		引き続き、国の制度に基づき、保育等に係る経費の一部を支給します。						

事業名： 市立保育所・へき地保育所管理運営事業（2事業） 担当部署： 子育て支援課 こども家庭係

年度		予算現額	決算額	財源内訳				(単位：千円)
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		221,231	195,422	21,052	14,389		104,330	55,651
目的	対 象		意 図					
	生後57日目から小学校就学前の児童（市立保育園）、3歳から小学校就学前の児童（へき地保育園）		健康で安定した環境の中で児童の健全な心身の発達を図ります。					
内取 容組		保護者の仕事や疾病などのために保育が必要となる児童に、安定した保育を提供します。郊外地区においては、地域で組織する運営委員会へ保育所の運営を委託します。						
実績		・市立保育園数　：3園（すずらん保育園、たんぼぼ保育園、ひまわり保育園） 園児数：161名（4月1日現在） ・へき地保育園数：6園（さんごそう、嘉多山、呼人いずみ、藻琴、北浜はまなす、浦士別） 園児数：73名（4月1日現在）						
方今 向後 性の		子ども・子育て支援新制度に基づき保育の充実を図ります。 市立すずらん保育園、市立たんぼぼ保育園は、市立嘉多山保育園は平成31年3月末日で閉園しました。						

事業名： 西部地区統合へき地保育所整備事業 担当部署： 子育て支援課 こども家庭係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		238,700	231,495			216,800	14,695	0
目的	対 象		意 図					
	3歳から小学校就学前の児童		適正な規模による集団保育の環境を確保しつつ、子どもの保育環境の向上を図ります。					
内取 容組		さんごそう保育園と嘉多山保育園を統合し、新たなへき地保育所を整備します。						
実績		対象施設の概要 ・施設名 : さんごそう保育園 ・構造 : 木造・平屋建 ・施設床面積 : 359.64㎡ ・施設概要 : 保育室、遊戯室、調理室、事務室等						
方今 向後 性の		平成31年4月にさんごそう保育園が開園しました。						

事業名： 潮見地区認定こども園整備事業補助金 担当部署： 子育て支援課 こども家庭係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		25,300	24,927			2,900	22,027	0
目的	対 象			意 図				
	生後57日目から小学校就学前の児童			民間活用を推進しつつ、子どもの保育環境の向上を図ります。				
内取 容組		潮見地区で新たな認定こども園を民設民営型で運営する民間事業者に対し、施設整備に係る費用の一部を補助します。						
実績		対象施設の概要 ・施設名 ：認定こども園しおみ仮園舎（保育機能部分） ・構造 ：木造一部計量鉄骨造 ・施設床面積：131.14㎡ ・総事業費／補助対象事業費：27,837千円／24,927千円 ・施設概要 ：乳児室、ほふく室、保育室等						
方今 向後 性の		令和元年秋頃に新園舎（保育機能部分）の完成を予定しています。 仮園舎は新園舎の完成後に解体する予定です。						

事業名： 北地区統合保育所整備事業補助金

担当部署： 子育て支援課 こども家庭係

年度		予算現額	決算額	財源内訳					(単位：千円)
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源	
H30		572,788	572,788	110,340		370,100	92,348	0	
目的	対 象		意 図						
	生後57日目から小学校就学前の児童		民間活用を推進しつつ、子どもの保育環境の向上を図ります。						
内取 容組	老朽化した市立すずらん保育園と市立たんぼ保育園の閉園に伴い、2つの保育所の機能を引き継ぐ新たな保育所を民設民営型で運営する民間事業者に対し、施設整備に係る費用の一部を補助します。								
実績	対象施設の概要 ・施設名 : いせの里保育園 ・構造 : 鉄筋コンクリート造 ・施設床面積 : 1,242.65㎡ ・総事業費／補助対象事業費 : 588,895千円／572,788千円 ・施設概要 : 保育室、遊戯室、一時保育室、病後児保育室、調理室、事務室等								
方今 向後 性の	平成31年4月にいせの里保育園が開園しました。								

事業名： 北地区児童センター整備事業補助金

担当部署： 子育て支援課 こども家庭係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		236,112	225,893	23,900		154,600	47,393	0
目的	対 象		意 図					
	主に小学生		民間活用を図りつつ、これまでの小型児童館を体力増進（運動遊び）機能が加わる児童センターに格上げすることにより、子どもの健全育成の向上を図ります。					
内取 容組	老朽化した北児童館の閉館に伴い、新たな児童センターを民設民営型で運営する民間事業者に対し、施設整備に係る費用の一部を補助します。							
実績	対象施設の概要 ・施設名 : いせの里児童センター ・構造 : 鉄筋コンクリート造 ・施設床面積 : 504.59㎡ ・総事業費／補助対象事業費 : 232,433千円／225,893千円 ・施設概要 : クラブ室、図書室、体育館、創作活動室、事務室等							
方今 向後 性の	平成31年4月にいせの里児童センターが開館しました。							

事業名： こども医療助成費

担当部署： 子育て支援課 こども家庭係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		94,232	81,101		21,312		36,024	23,765
目的	対 象			意 図				
	中学校卒業前の子の保護者			子どもの医療費を助成することで子育て世帯の経済的負担の軽減を図り、子育て環境の向上を進めます。				
内取 容組	課税世帯 3歳未満は医療費が無料 3歳～中学生は入院費が無料で入院以外の医療費が1割負担 非課税世帯 未就学児の医療費が無料 小・中学生は入院費が無料で入院以外の医療費が1割負担 高校生等から数えて第3子目にあたる子については、中学生までは医療費が無料 ※この助成事業は、北海道の医療助成事業（道と市で費用負担）に市独自の助成を加えています。							
実績	・入院：659件（未就学児：570件、小・中学生：89件） ・入院外：27,081件（未就学児：14,941件、小・中学生：12,140件） ・歯科：3,482件（未就学児：1,341件、小・中学生：2,141件） ・調剤：12,190件（未就学児：7,018件、小・中学生：5,172件） ・その他（整骨院、補装具など）：112件（未就学児：3件、小・中学生：109件）							
方今 向後 性の	引き続き、子どもの医療費を助成することで、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。							

介護保険特別会計

目的	高齢者の生活を住み慣れた地域で支え、認知症などの方も、いつまでもその方らしく尊厳が守られ、生きがいを持って安心して暮らすことのできる環境をつくります。																																																																																																		
主な取組内容	介護保険事業 ①介護保険事業 ・居宅（介護予防）、施設、地域密着型（介護予防）に係るサービス・市町村特別給付・低所得者対策 地域支援事業【介護保険給付対象サービス】 ②介護予防・日常生活支援総合事業 《介護予防・生活支援サービス事業》 ・買物支援サービス事業（買物代行サービス） ・いきいき教室事業（郊外地区における介護予防教室） ・短期集中予防サービス事業【訪問型・通所型】（運動器の機能向上） ・高齢者等さわやか収集事業（ごみの搬出、声掛けによる安否確認） 《一般介護予防事業》 ・高齢者ふれあい支援事業（地域住民グループ育成、高齢者ふれあいの家開設） ・介護予防教室等事業（高齢者筋力アップ事業、介護予防教室） ・地域リハビリテーション活動支援事業（地域の通いの場へリハビリ専門職を派遣） ③包括的支援事業 ・地域包括支援センター運営事業（高齢者に対する総合相談機関の設置） ・在宅医療・介護連携推進事業（協議会の設置及び各種事業の検討） ・生活支援体制整備事業（協議体の設置及び生活支援コーディネーターの配置） ・認知症初期集中支援推進事業（認知症初期集中支援チームの配置） ・認知症地域支援・ケア向上事業（認知症地域支援推進員の配置、認知症カフェの開催） ④任意事業 ・成年後見制度利用支援事業（申立費用及び後見人等への報酬に対する助成）																																																																																																		
主な実績	①介護保険事業 ・居宅介護サービス給付費：985,708千円（給付件数 22,108件） ・地域密着型サービス給付費：893,808千円（給付件数 5,281件） ・施設介護サービス給付費：593,725千円（給付件数 2,462件） ・利用者負担軽減対策費：16,031千円 <H29 18,020千円 H28 17,025千円> ②介護予防・日常生活支援総合事業 <table><tr><th colspan="2">事業名</th><th>項目</th><th>H30</th><th>H29</th></tr><tr><td colspan="5">介護予防・生活支援サービス事業</td></tr><tr><td rowspan="4">買物支援サービス事業</td><td>利用人数</td><td></td><td>6人</td><td>2人</td></tr><tr><td>延べ利用回数</td><td></td><td>82回</td><td>21回</td></tr><tr><td rowspan="2">いきいき教室事業</td><td>対象地区</td><td>5地区</td><td>5地区</td></tr><tr><td>登録者</td><td>22名</td><td>22名</td></tr><tr><td></td><td>延べ参加者</td><td>857名</td><td>813名</td></tr><tr><td rowspan="2">短期集中予防サービス事業（訪問）</td><td>利用人数</td><td>7名</td><td>—</td></tr><tr><td>延べ利用回数</td><td>63回</td><td>—</td></tr><tr><td rowspan="2">短期集中予防サービス事業（通所）</td><td>利用人数</td><td>25名</td><td>11名</td></tr><tr><td>延べ利用回数</td><td>541回</td><td>255回</td></tr><tr><td rowspan="2">高齢者等さわやか収集事業</td><td>利用世帯</td><td>99世帯</td><td>114世帯</td></tr><tr><td>延べ利用回数</td><td>7,317回</td><td>6,899回</td></tr><tr><td colspan="5">一般介護予防事業</td></tr><tr><td rowspan="3">高齢者ふれあい支援事業</td><td>設置団体</td><td>13団体</td><td>13団体</td></tr><tr><td>登録者</td><td>447名</td><td>472名</td></tr><tr><td>延べ利用者</td><td>12,909名</td><td>13,091名</td></tr><tr><td colspan="5">介護予防教室等事業</td></tr><tr><td rowspan="3">高齢者筋力アップ事業（らくらく健康トレーニング）</td><td>箇所数</td><td>6箇所</td><td>6箇所</td></tr><tr><td>登録者</td><td>359名</td><td>369名</td></tr><tr><td>延べ参加者</td><td>10,187名</td><td>9,788名</td></tr><tr><td rowspan="2">介護予防事業</td><td>実施団体</td><td>18団体</td><td>19団体</td></tr><tr><td>延べ参加者</td><td>1,050名</td><td>1,535名</td></tr><tr><td rowspan="2">地域リハビリテーション活動支援事業</td><td>実施団体</td><td>4団体</td><td>2団体</td></tr><tr><td>延べ実施回数</td><td>34回</td><td>10回</td></tr></table> ③包括的支援事業 ・地域包括支援センター運営事業：2箇所 ・在宅医療・介護連携推進事業：協議会の開催 2回、研修会の開催 2回 ・生活支援体制整備事業：第2層協議体に係る各圏域協議 11地区 ・認知症初期集中支援推進事業：認知症初期集中支援チームの設置 対応件数 2件 ・認知症地域支援・ケア向上事業：認知症地域支援推進員の配置 2名、認知症カフェの開催13回 ④任意事業 ・成年後見制度利用支援事業：申立件数 1件、報酬等助成件数 7件				事業名		項目	H30	H29	介護予防・生活支援サービス事業					買物支援サービス事業	利用人数		6人	2人	延べ利用回数		82回	21回	いきいき教室事業	対象地区	5地区	5地区	登録者	22名	22名		延べ参加者	857名	813名	短期集中予防サービス事業（訪問）	利用人数	7名	—	延べ利用回数	63回	—	短期集中予防サービス事業（通所）	利用人数	25名	11名	延べ利用回数	541回	255回	高齢者等さわやか収集事業	利用世帯	99世帯	114世帯	延べ利用回数	7,317回	6,899回	一般介護予防事業					高齢者ふれあい支援事業	設置団体	13団体	13団体	登録者	447名	472名	延べ利用者	12,909名	13,091名	介護予防教室等事業					高齢者筋力アップ事業（らくらく健康トレーニング）	箇所数	6箇所	6箇所	登録者	359名	369名	延べ参加者	10,187名	9,788名	介護予防事業	実施団体	18団体	19団体	延べ参加者	1,050名	1,535名	地域リハビリテーション活動支援事業	実施団体	4団体	2団体	延べ実施回数	34回	10回
事業名		項目	H30	H29																																																																																															
介護予防・生活支援サービス事業																																																																																																			
買物支援サービス事業	利用人数		6人	2人																																																																																															
	延べ利用回数		82回	21回																																																																																															
	いきいき教室事業	対象地区	5地区	5地区																																																																																															
		登録者	22名	22名																																																																																															
	延べ参加者	857名	813名																																																																																																
短期集中予防サービス事業（訪問）	利用人数	7名	—																																																																																																
	延べ利用回数	63回	—																																																																																																
短期集中予防サービス事業（通所）	利用人数	25名	11名																																																																																																
	延べ利用回数	541回	255回																																																																																																
高齢者等さわやか収集事業	利用世帯	99世帯	114世帯																																																																																																
	延べ利用回数	7,317回	6,899回																																																																																																
一般介護予防事業																																																																																																			
高齢者ふれあい支援事業	設置団体	13団体	13団体																																																																																																
	登録者	447名	472名																																																																																																
	延べ利用者	12,909名	13,091名																																																																																																
介護予防教室等事業																																																																																																			
高齢者筋力アップ事業（らくらく健康トレーニング）	箇所数	6箇所	6箇所																																																																																																
	登録者	359名	369名																																																																																																
	延べ参加者	10,187名	9,788名																																																																																																
介護予防事業	実施団体	18団体	19団体																																																																																																
	延べ参加者	1,050名	1,535名																																																																																																
地域リハビリテーション活動支援事業	実施団体	4団体	2団体																																																																																																
	延べ実施回数	34回	10回																																																																																																
今後の方針	第7期網走市高齢者保健福祉計画及び網走市介護保険事業計画（平成30～令和2年度）に基づき、関係機関等と連携を図りながら各種事業を推進し、高齢者の自立支援や要介護状態の重度化防止に取り組みます。																																																																																																		

国民健康保険特別会計

目的	国民健康保険法に基づく医療保険として、被保険者への必要な保険給付及び健康の保持増進を図るため、国民健康保険事業の安定的かつ円滑な運営を行います。
主な取組内容	国民健康保険制度の安定的な運営 ①保険給付 / 医療費・療養費、・出産費、・葬祭費等の支払及び申請受付 ②資格管理 / 資格得喪等の受付、被保険者証の交付 ③国保料賦課及び徴収 / 収納率向上対策 ④保健事業の展開 / 特定健康診査、特定保健指導の実施 人間ドック、脳ドック受診の助成
主な実績	①保険給付(一般、退職の合算) ・保険給付費(療養給付費、療養費、高額療養費等の合算) H30年度 2,784,163千円 一人当たり 313.0千円 H29年度 2,818,621千円 一人当たり 307.4千円 ・出産育児一時金 H30年度 15,072千円 (36件) / H29年度 22,212千円 (53件) ・葬祭費 H30年度 1,410千円 (47件) / H29年度 1,890千円 (63件) ②資格管理 (H30年度末時点) ・加入率(世帯) 29.1%(全世帯17,870世帯のうち5,199世帯) ・加入率(被保険者数) 25.2%(総人口34,898名のうち8,785名) ③国保料賦課及び徴収 ・H30年度保険料率 医療分の改定 所得割▲0.3% 資産割▲1.2% 平等割▲1.5千円 介護分の改定 所得割▲0.3% 資産割▲1.4% 均等割▲0.9千円 平等割▲0.9千円 - 医療分:所得割 6.0% 資産割 30.8% 均等割 27.5千円 平等割 24千円 限度額 580千円 支援分:所得割 2.2% 資産割 6.0% 均等割 9.5千円 平等割 7.5千円 限度額 190千円 介護分:所得割 1.7% 資産割 6.1% 均等割 12千円 平等割 6千円 限度額 160千円 ・現年度収納率 95.46%(H29年度 95.04% H28年度 94.56%) ・滞納繰越分収納率 22.90%(H29年度 19.37% H28年度 20.07%) ④保健事業の展開 ・特定健康診査の実施 H30年度 受診率 目標:28% 11月確定予定(※第2期データヘルス計画により目標再設定) H29年度 受診率 目標:60% 実績:23.4% H28年度 受診率 目標:55% 実績:25.4% ・人間ドックの受診助成 203件 ・脳ドックの受診助成 250件 ⑤その他 事務費、人件費、保険基盤安定制度による保険料軽減分、財政安定化支援事業分、出産育児一時金、保健事業分、福祉医療影響分など、一般会計からの繰入金は、407,480千円です。
今後の方向性	将来にわたり市民が安心して医療を受けることができるよう、安定的な制度運営に努めます。 ①資格管理、国保料賦課及び徴収、適用の適正化について ・今後も関係課と連携を図り、適正化に努めます。 (保険料収納及び所得申告:税務課 住民異動及び資格届出:戸籍保険課) ②保健事業の展開について ・引き続き各種がん検診、人間ドック、脳ドック助成事業を実施します。 ・特定健康診査及び特定保健指導を積極的に実施します。 また、未受診者には受診の勧奨を行います。 ③あばり健康マイレージ制度(一般会計)の対象事業について ・被保険者の各種がん検診、人間ドック、脳ドック、特定健康診査及び特定保健指導の受診について、引き続き一般会計が実施する健康マイレージ制度の対象事業とします。 ④その他 国保の都道府県化の開始を受け、道との連携を図りながら健全な運営に努めます。

後期高齢者医療特別会計

目的	高齢者の医療の確保に関する法律に基づく医療保険として、被保険者が安心して医療を受けられるよう、後期高齢者医療制度の安定的かつ円滑な運営を図ります。
主な取組内容	北海道後期高齢者医療広域連合(道内全市町村で構成)が運営する後期高齢者医療制度に基づき、75歳以上の方及び65歳以上で一定の障がいのある方を被保険者として、次の事務を行います。 ①保険給付 / 医療費・療養費・葬祭費等の申請受付 ②資格管理 / 資格得喪等の受付、被保険者証の交付、限度額適用・標準負担額減額認定証の交付 ③後期高齢者医療保険料の徴収 / 収納率向上対策 ④保健事業 / 後期高齢者健康診査の実施、脳ドック助成の実施
主な実績	①保険給付 ・療養給付費等 5,081,456千円 ②資格管理 ・被保険者数 5,498名(平成31年3月末時点) ③後期高齢者医療保険料の徴収 ・収納率 現年度 収納率 99.42%(H29年度99.43% H28年度99.43% H27年度99.24%) 滞納繰越分 収納率 36.63%(H29年度18.68% H28年度32.11% H27年度31.31%) ④保健事業 ・後期高齢者健康診査 受診者数:666名 ・脳ドック助成 受診者数:54名 助成額単価:26,800円(自己負担額11,000円) ・口腔歯科健診 受診者数:11名 ⑤その他 ・人件費、事務費、保険基盤安定制度による保険料軽減分など、一般会計からの繰入金は147,430千円です。 ・後期高齢者医療療養給付費負担金は399,010千円です。 後期高齢者医療制度の財源は、被保険者の保険料(1割)及び各保険者からの支援金(4割)と公費負担5割(国2/3・道1/6・市1/6)からなっています。
今後の方向性	将来にわたり、市民(後期高齢者)が安心して医療を受けることができるよう、安定的な制度運営に努めるとともに、保険者である北海道後期高齢者医療広域連合と連携を図ります。

能取漁港整備特別会計

目的	能取漁港の背後地に造成した能取工業団地の施設管理及び土地の売却を行います。																																		
主な取組内容	①能取工業団地の維持管理を行います。 ・公害防止施設の管理 ・団地内街路灯等の管理 ②能取工業団地の土地の売却を行います。																																		
主な実績	①能取工業団地の維持管理 収入 ・公害防止施設使用料12,954 千円 ・雑入187 千円 支出 ・污水处理施設維持管理13,089 千円 ②能取工業団地の土地の売却 近年の販売実績 <table><tr><td>・日本天然素材株式会社</td><td>3,359 m²</td><td>(平成20年度</td><td>10,752千円)</td></tr><tr><td>・網走合同定置</td><td>2,000 m²</td><td>(平成20年度</td><td>6,221千円)</td></tr><tr><td>・日本ホワイトファーム株式会社</td><td>300 m²</td><td>(平成22年度</td><td>1,080千円)</td></tr><tr><td>・市有財産整備特別会計</td><td>52,962 m²</td><td>(平成23年度</td><td>235,000千円)</td></tr><tr><td>・市有財産整備特別会計</td><td>25,000 m²</td><td>(平成27年度</td><td>97,500千円)</td></tr><tr><td>・株式会社ノースエナジー</td><td>6,290 m²</td><td>(平成28年度</td><td>19,526千円)</td></tr><tr><td>・日本ホワイトファーム株式会社</td><td>8,400 m²</td><td>(平成28年度</td><td>23,814千円)</td></tr><tr><td>・株式会社WIND-SMILE</td><td>60,443 m²</td><td>(平成29年度</td><td>163,456千円)</td></tr></table> ・売却可能総面積496,088 m² うち、売却済面積419,694 m² うち、未売却面積76,394 m² ③特別会計経営に係る収支状況 実質収支H30 ▲245,134 千円H29 ▲247,535 千円			・日本天然素材株式会社	3,359 m ²	(平成20年度	10,752千円)	・網走合同定置	2,000 m ²	(平成20年度	6,221千円)	・日本ホワイトファーム株式会社	300 m ²	(平成22年度	1,080千円)	・市有財産整備特別会計	52,962 m ²	(平成23年度	235,000千円)	・市有財産整備特別会計	25,000 m ²	(平成27年度	97,500千円)	・株式会社ノースエナジー	6,290 m ²	(平成28年度	19,526千円)	・日本ホワイトファーム株式会社	8,400 m ²	(平成28年度	23,814千円)	・株式会社WIND-SMILE	60,443 m ²	(平成29年度	163,456千円)
・日本天然素材株式会社	3,359 m ²	(平成20年度	10,752千円)																																
・網走合同定置	2,000 m ²	(平成20年度	6,221千円)																																
・日本ホワイトファーム株式会社	300 m ²	(平成22年度	1,080千円)																																
・市有財産整備特別会計	52,962 m ²	(平成23年度	235,000千円)																																
・市有財産整備特別会計	25,000 m ²	(平成27年度	97,500千円)																																
・株式会社ノースエナジー	6,290 m ²	(平成28年度	19,526千円)																																
・日本ホワイトファーム株式会社	8,400 m ²	(平成28年度	23,814千円)																																
・株式会社WIND-SMILE	60,443 m ²	(平成29年度	163,456千円)																																
今後の方向性	庁内関係部署及び経済団体等と情報交換を行い、効果的な企業立地(誘致)の推進に取り組めます。																																		

目標	2 豊かな自然と共生する安心なまち	取組分野	2. 都市基盤
----	-------------------	------	---------

事業名： 橋梁長寿命化修繕事業 担当部署： 都市整備課 建設係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		39,760	37,662	22,596		11,600		3,466
目的	対 象			意 図				
	市民			老朽化した橋梁を予防的に修繕することで将来の修繕及び架替えの費用を削減するとともに、安全・安心な交通環境の向上を図ります。				
内取 容組		橋梁長寿命化修繕計画に基づいた橋梁補修、補強などの修繕を行います。						
実績		①山下跨道橋(橋面防水工) ②第3号橋(補修設計) ③眺海橋(補修設計) ④橋梁長寿命化修繕計画の改定(91橋)						
方今 向後 性の		橋梁長寿命化修繕計画に基づき、優先度の高い橋梁から計画的に修繕を行います。						

事業名： 市道・生活道路整備事業（2事業） 担当部署： 都市整備課 建設係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		138,929	138,929			125,032		13,897
目的	対 象			意 図				
	市民			車両、歩行者等の安全な通行と円滑な交通環境を確保するとともに、都市機能や居住環境の向上を図ります。				
内取 容組	①経年劣化により破損した道路の路盤及び舗装を整備し、側溝（トラフ等）を管渠に変更します。 ②歩道が未整備の路線に歩道を新設します。 ③概ね5戸以上の沿道利用者がいる未舗装の生活道路（私道）の路盤及び舗装を整備します。							
実績	①道路改良 ：延長523m、7路線（駒場南2丁目6号線ほか） ②道路舗装 ：延長611m、5路線（天都山南線ほか） ③道路排水 ：延長 46m、3路線（音根内東10線ほか） ④生活道路整備：延長 34m、1路線（新町中央線）							
方今 向後 性の	市民からの要望、路面の損傷状況及び交通状況に応じて優先度を定め、計画的に整備します。							

事業名： 郊外地区道路整備事業 担当部署： 都市整備課 建設係

年度		予算現額	決算額	財源内訳					(単位：千円)
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源	
H30		40,000	39,971			39,900		71	
目的	対 象			意 図					
	農村（郊外）地域に居住する市民			スクールバスや農業用車両の安全な通行を確保し、安全・安心な交通環境と居住環境の向上を図ります。					
内取 容組	郊外地区の未舗装道路の舗装化を行います。								
実績	①浦士別東16線（延長300m、路盤改良、舗装） ②二見ヶ岡卯原内線（延長360m、路盤改良、舗装）								
方今 向後 性の	スクールバスや農業用車両の通行状況に応じ、優先度を定め計画的に整備します。								

事業名： 道路ストック修繕事業

担当部署： 都市整備課 建設係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		12,366	12,366	7,320		4,500		546
目的	対 象			意 図				
	市民			老朽化した道路施設や劣化した路面を予防的に修繕することにより、将来の修繕及び再設置の費用を縮減するとともに、安全・安心な交通環境の向上を図ります。				
内取 容組	道路施設や路面状況の点検調査結果に基づき、適切な維持補修を行います。							
実績	呼人東藻琴線（延長150m、路上路盤再生工）							
方今 向後 性の	点検結果に基づき、優先度の高い道路施設・路線から計画的に修繕します。							

事業名： 道路維持補修事業

担当部署： 都市管理課 道路河川係

年度			財源内訳					(単位：千円)
予算現額		決算額	国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源	
H30		138,526	138,526		2,838	328	135,360	
目的	対 象		意 図					
	市民		道路の危険箇所等の補修を行うことで、交通の円滑化、交通事故防止を図り、安全・安心な道路環境を確保します。					
内取 容組	経年劣化等により破損した道路舗装及び道路付属施設（側溝等）の補修を行うほか、交通に支障を生じさせないように路肩の草刈り等を行います。							
実績	①管理路線：市道704路線、生活道路、市の管理する道路 ②道路の舗装改修：潮見鱒浦線、向陽ヶ丘中央線 ③区画線の設置：白線延長20.6km ④デリネーター設置、道路補修、縁石排水溝補修、排水管清掃 ⑤その他修繕等：軽微な損傷の修繕（随時）、路肩の草刈り等							
方今 向後 性の	道路パトロールの実施により、破損箇所の早期発見・早期補修に努めるとともに、郊外地区を中心に、地域と連携した道路管理の体制づくりを推進します。							

事業名： 除雪事業

担当部署： 都市管理課 道路河川係

年度			財源内訳				(単位：千円)					
予算現額			国支出金		道支出金		地方債		その他		一般財源	
H30			453,092		395,568						395,568	
目的	対 象			意 図								
	市民			冬期の降雪状況に応じて除雪及び排雪を実施することで、道路交通の円滑化、交通事故防止を図り、安全・安心な道路環境を確保します。								
内取 容組			市民生活に必要な市道・管理道路等を除排雪対象路線と位置付け、除排雪を行います。									
実績			・ 除排雪日数：73日 ・ 除排雪路線 市道：車道651路線（420.7km）、歩道95路線（80.5km） 									

事業名： 除雪作業車整備事業

担当部署： 都市管理課 道路河川係

			財源内訳 (単位：千円)				
年度	予算現額	決算額	国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30	18,933	18,933	12,319		5,400	108	1,106
目的	対 象		意 図				
	市民		除雪車両を更新することにより、除雪体制の強化を図ります。				
内取 容組	社会資本整備総合交付金を活用し、平成11年式の小型ロータリー除雪車を更新します。						
実績	小型ロータリー除雪車の購入						
方今 向後 性の	除排雪業務に支障を生じさせないよう、計画的に車両を更新します。						

事業名： 歩道整備事業（補助事業）（4事業）

担当部署： 都市整備課 建設係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		65,894	64,879	37,063		24,800		3,016
目的	対 象			意 図				
	市民			歩行者等の安全な通行と円滑な交通環境の確保を図ります。				
内取 容組		通学路として指定されている路線のうち、歩道が未整備で交通安全上危険な路線の歩道を整備します。						
実績		①潮見鰯浦線 (延長 70m、歩道新設) ②北西3丁目斜線 (延長 29m、歩道新設) ③駒場北1丁目4号線 (延長 115m、歩道新設) ④一中グランド線 (延長 230m、測量設計)						
方今 向後 性の		「通学路安全プログラム」に基づき、対策が必要な交通安全上危険な路線を計画的に整備します。						

事業名： 小学校通学路整備事業（単独事業）（5事業）

担当部署： 都市整備課 建設係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		31,559	28,858			25,960		2,898
目的	対 象		意 図					
	市民		歩行者等の安全な通行と円滑な交通環境の確保を図ります。					
内取 容組		通学路として指定されている路線のうち、歩道が未整備または狭いなど、交通安全上危険な路線の歩道を整備します。						
実績		①鉄南11条通線 (延長 98m、歩道新設) ②屠場川沿線 (延長 47m、排水整備) ③桂町中央線 (延長 90m、測量設計) ④駒場北3丁目1号線 (延長190m、測量設計) ⑤つくしヶ丘西4号線 (防護柵購入)						
方今 向後 性の		交通事故の危険性を低減させるため、「通学路安全プログラム」及び「通学路整備計画」に基づき、優先度の高い路線から順に整備します。						

事業名： 広域連携海外クルーズプロモーション事業

担当部署： 港湾課 港湾管理係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		400	400					400
目的	対 象			意 図				
	観光事業者			客船の誘致・受入を通じ、網走港の活性化と地域振興を図ります。				
内取 容 組		北海道内の港湾や国、北海道と連携し、船社キーパーソンの招請と海外でのセールスを実施します。						
実績		①キーパーソン招請 8月21～22日 網走近郊 クリスタルクルーズ社（網走・室蘭・稚内・釧路・道庁・運輸局で連携） 9月12～13日 網走近郊 ノーブルカレドニア社（網走・釧路・苫小牧・道庁・運輸局で連携） ②セールス 11月11～15日 シアトル・ロサンゼルス クルーズ船社5社と商談 日本政府観光局との意見交換 ※キーパーソン招請により、令和3年のクリスタルクルーズ社による網走港へのクルーズ予約を獲得						
方今 向後 性の		海外クルーズ船社におけるアジアへの配船は今後増加する見込みであり、新たな船社の開拓はもとより寄港実績のある海外クルーズ船社に対して、今後もキーパーソンの招請や、海外本社へのセールスコールを通じた誘致活動を継続します。						

事業名： 大型客船入港検討事業

担当部署： 港湾課 港湾管理係

年度		予算現額	決算額	財源内訳					(単位：千円)
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源	
H30		9,157	9,157					9,157	
目的	対 象			意 図					
	客船事業者			大型クルーズ船（14万 t 級）を網走港で受け入れ、港の活性化と地域の振興を図ります。					
内取 容 組	網走港に大型クルーズ船を誘致するため、入港シミュレーションとともに、船舶航行安全委員会を開催します。								
実 績	・ 14万 t クラスの入港シミュレーションを実施 ・ 船舶航行安全委員会において入出港時の条件等を協議								
方今 向後 性の	平成30年度で完了しました。今後は、検討結果を踏まえた網走港での入港ルールを策定するとともに、大型クルーズ船の誘致プロモーションに取り組みます。								

事業名： 国際クルーズ旅客受入機能高度化事業

担当部署： 港湾課 港湾管理係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		5,880	5,875	1,958				3,917
目的	対 象			意 図				
	観光事業者			国際クルーズ船を網走港で受け入れ、港の活性化と地域の振興を図ります。				
内取 容 組	C I Q 審査や貨物と乗船客の導線を分離し、スムーズな受入環境を整備します。							
実績	・ C I Q 審査用大型テントの整備 (9m×5.4m：4張) ・ 貨客分離用安全柵の製作 (30柵) ・ 安全柵用おもてなし横断幕の製作 (20張)							
方今 向後 性の	平成30年度で完了しました。							

事業名： 国直轄港湾整備事業負担金

担当部署： 港湾課 港湾管理係

事業名：国直轄港湾整備事業実施		担当部署：港湾課		港湾管理課			
年度	予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30	91,485	90,316			81,200		9,116
目的	対 象		意 図				
	港湾施設利用者		利用者が安全・安心に利用できる環境にするため、国の重要港湾である網走港の港湾整備を実施します。				
内取 容組	国直轄事業により、新港地区の港内静穏度を確保するための南防波堤の整備、老朽化した川筋地区の物揚場整備を実施します。						
実績	直轄工事内容 ・南防波堤の延伸：消波ブロック製作（61個） ・物揚場の改良：本体工事（34.75m）						
方今 向後 性の	網走港内の静穏度の確保及び老朽化した川筋地区の物揚場の改良については、今後も国と一体となって整備を進め、網走港利用者が安全・安心に利用できるよう整備します。						

事業名： 緑地整備事業

担当部署： 港湾課 港湾管理係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		14,000	13,778	1,998	4,800	3,700		3,280
目的	対 象			意 図				
	市民、観光客			網走港を中心に水辺環境を生かしたウォーターフロント空間を整備することにより、憩い・楽しむことができる空間を創出します。				
内取 容組	モヨロ地区に緑地親水ゾーンを整備します。							
実績	①園路整備：（30m） ②捕鯨船の撤去解体 ③捕鯨船モニュメントの整備							
方今 向後 性の	ウォーターフロント空間を利用した、新たな観光・交流拠点となるよう取り組むとともに、平成27年度に国が策定した「かわまちづくり計画」とも一体となって整備します。							

事業名： 呼人漁港整備事業負担金

担当部署： 水産漁港課 漁業振興係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		8,320	7,920			7,100	410	410
目的	対 象			意 図				
	網走湖漁業者（西網走漁業協同組合）			漁業生産活動の効率化のため漁港を整備し、水産業の振興を図ります。				
内取 容組	呼人漁港の係留施設を整備します。							
実績	係留施設（-2.0m物揚場）の整備：延長107.0m ※平成30年度事業費99,000千円（うち地元負担7,920千円）							
方今 向後 性の	令和元年度の完成を予定しています。							

事業名： 鱒浦漁港整備事業負担金

担当部署： 水産漁港課 漁業振興係

年度		予算現額	決算額	財源内訳					(単位：千円)
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源	
H30		133	128				64	64	
目的	対 象			意 図					
	沿岸漁業者（網走漁業協同組合）			漁業生産活動の効率化のため漁港を整備し、水産業の振興を図ります。					
内取 容組		鱒浦漁港の外郭施設及び係留施設を整備します。							
実績		①外郭施設（一式）の整備 ②係留施設（船揚場）調査設計 ※平成30年度事業費75,664千円（うち地元負担額128千円）							
方今 向後 性の		令和3年度の完成を予定しています。							

事業名： 網走川筋環境整備事業

担当部署： 都市整備課 計画係

年度		予算現額	決算額	財源内訳				(単位：千円)
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		5,000	2,106					2,106
目的	対 象			意 図				
	市民及び観光客			市民や観光客の憩いの場となるよう網走川沿いを整備し、魅力の向上を図ります。				
内取 容組	「網走かわまちづくり計画」（平成27年度策定）に基づき網走川沿いの環境を整備します。							
実績	①網走かわまちづくり検討会の開催 2回 ②網走かわまちづくり附属施設の実施設計（遊歩道、街路灯、案内板）							
方今 向後 性の	網走川沿いの賑わいを創出するため、市民や観光客の憩いの場となるよう整備を進めます。							

事業名： J R北海道利用促進事業

担当部署： 企画調整課 企画係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		663	558					558
目的	対 象			意 図				
	市民			鉄路の存続に向け、住民のマイレール意識の醸成と利用促進を図ります。				
内取 容組	幼稚園での汽車遠足など、列車を利用した小旅行へ乗車運賃等の全部または一部を助成します。							
実績	・一般利用 利用者数：23名、助成金額：74,090円 ・小中学校利用 利用者数：46名、助成金額：48,400円 ・汽車遠足利用 利用者数：153名、助成金額：58,000円							
方今 向後 性の	助成対象要件を緩和し、今後も更なる利用促進を図ります。							

事業名： 地域連携釧網本線活用可能性調査事業

担当部署： 観光課 広域観光推進係

年度		予算現額	決算額	財源内訳					(単位：千円)
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源	
H30		1,025	848					848	
目的	対 象			意 図					
	市民、観光客								
内取 容組	①釧網本線の観光路線としての利活用の可能性について調査を実施します。 ②観光列車受入体制の構築と地域の意識醸成に繋げるため、北海道観光列車の受入を支援します。 ③沿線地域住民のマイレール意識の醸成を図るため、気運醸成に向けて取り組みます。								
実績	J R 釧網本線維持活性化沿線協議会負担金 648千円 釧網本線活用可能性調査事業網走実行委員会負担金 200千円 ①釧網本線活用可能性調査事業を実施 ・沿線の環境基盤の現状、課題の分析 ・釧網本線を基軸、観光資源とした広域周遊観光等のテストマーケティング ・釧網本線の利用増加策の方向性や取組手法の検討 ②駅での歓迎横断幕掲示、地場産品等の配布、車内でのガイダンス等を実施 ③釧網本線の利用促進に向けた講演会を実施（3月28日、釧路プリンスホテル、参加者187名）								
方今 向後 性の	今後も、沿線自治体等と連携しながら釧網本線の維持活性化に向けた取組を推進します。								

事業名： 公衆フリーWi-Fi環境整備事業

担当部署： 情報政策課 情報政策係

年度	予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30	6,297	6,286	2,490		2,700		1,096
目的	対 象		意 図				
	市民及び観光客		公共施設における情報通信環境の向上や災害時の情報伝達手段を確保します。				
内取 容組	公共施設の周辺をエリアとする公衆フリーWi-Fiを設置します。						
実績	①オホーツク・文化交流センター（エコーセンター2000）前庭に無線LAN環境（アクセスポイント）1箇所設置 ②みなと観光交流センター（道の駅「流氷街道網走」）駐車場に無線LAN環境（アクセスポイント）2箇所設置 ※①・②いずれも2月より正式運用開始						
方今 向後 性の	引き続き、公共施設等にフリーWi-Fiのアクセスポイントの整備を進め、災害時の情報伝達手段の確保と屋外での情報通信環境の向上を図ります。						

能取漁港整備特別会計

目的	能取漁港の背後地に造成した能取工業団地の施設管理及び土地の売却を行います。		
主な取組内容	①能取工業団地の維持管理を行います。 ・公害防止施設の管理 ・団地内街路灯等の管理 ②能取工業団地の土地の売却を行います。		
主な実績	①能取工業団地の維持管理 収入 ・公害防止施設使用料 12,954 千円 ・雑入 187 千円 支出 ・污水处理施設維持管理 13,089 千円 ②能取工業団地の土地の売却 近年の販売実績 ・日本天然素材株式会社 3,359 m ² (平成20年度 10,752千円) ・網走合同定置 2,000 m ² (平成20年度 6,221千円) ・日本ホワイトファーム株式会社 300 m ² (平成22年度 1,080千円) ・市有財産整備特別会計 52,962 m ² (平成23年度 235,000千円) ・市有財産整備特別会計 25,000 m ² (平成27年度 97,500千円) ・株式会社ノースエナジー 6,290 m ² (平成28年度 19,526千円) ・日本ホワイトファーム株式会社 8,400 m ² (平成28年度 23,814千円) ・株式会社WIND-SMILE 60,443 m ² (平成29年度 163,456千円) ・売却可能総面積 496,088 m ² うち、売却済面積 419,694 m ² うち、未売却面積 76,394 m ² ③特別会計経営に係る収支状況 実質収支 H30 ▲245,134 千円 H29 ▲247,535 千円		
今後の方向性	庁内関係部署及び経済団体等と情報交換を行い、効果的な企業立地(誘致)の推進に取り組めます。		

網走港整備特別会計

目的	網走港は昭和53年に重要港湾に指定され、北網圏の農林水産業・商工業の物流の拠点として、重要な役割を担っています。国内外へ物資を円滑に流通させるための上屋施設、ふ頭用地等の整備及び維持管理を行うとともに、関係企業等へのポートセールスにより、港湾関連用地の売却を促進します。				
主な取組内容	①港湾施設の維持管理 ・上屋、ふ頭施設及び船舶給水施設の維持管理を行います。 ②港湾関連用地の売却 ・関係企業・団体へのポートセールスを行います。 ・港湾利活用の調査を参考として売却の促進を行います。				
主な実績	(1) 港湾施設の維持管理実績				
	収入				
	・用地使用料	H30	28,671 千円	H29	29,516 千円
	・上屋使用料	H30	17,657 千円	H29	17,878 千円
	・給水施設使用料	H30	1,399 千円	H29	1,658 千円
	支出				
	・用地・上屋施設管理事業	H30	4,461 千円	H29	9,452 千円
	・給水施設整備事業	H30	1,440 千円	H29	1,676 千円
	・公租公課(消費税)	H30	4,097 千円	H29	2,371 千円
	(2) 港湾関連用地の売却整備実績				
収入					
・貸地料	H30	16,921 千円	H29	16,670 千円	
・土地売却収入	H30	2,861 千円	H29	6,119 千円	
《売却件数・面積》		《0件:過年度分納あり》		《0件:過年度分納あり》	
支出					
・用地造成費	H30	6,687 千円	H29	8,414 千円	
(3) その他の経費					
支出					
・繰上充用金		1,166,980 千円		1,216,589 千円	
・一時借入金利子		320 千円		319 千円	
(4) 特別会計経営に係る収支状況					
実質収支	H30	▲ 1,116,476 千円	H29	▲ 1,166,980 千円	
(5) その他の実施事項					
①上屋施設・港湾用地の軽微な修繕					
②船舶への給水量					
	H30	2,969 t	H29	4,669 t	
③ポートセールスの実施(東京・横浜・大阪・札幌・米国など)					
・郵船クルーズ(株)、日本クルーズ客船(株)、カーニバルジャパン、					
・ウィルヘルムセンシップスサービス、(株)Destination Asia Japan					
・国交省港湾局、北海道庁、みなと総合研究所、海事プレス社、寒地港湾技術研究センター					
・VJ(ビジットジャパン)事業:プリンセスクルーズ、ウインドスター					
・ホーランドアメリカライン、クリスタルクルーズ、JNTO(日本政府観光局)ロス事務所					
・キーパーソン招請:クリスタルクルーズ社・ノーブルカレドニア社					
今後の方向性	・港湾施設の維持管理 施設の老朽化に伴い、維持管理に係る経費も増大する傾向にありますが、経費削減に努めつつ、入港船舶や港湾施設の利用促進を図るため、企業への積極的なPRを行います。 ・港湾関連用地の売却について 実質収支は近年減少傾向にあるものの、約11億2千万円の赤字を抱えている状況です。 今後も関係企業や港湾施設利用団体へのポートセールスを行い、積極的に用地の売却を進め、早期の赤字解消に努めます。				

目標	2 豊かな自然と共生する安心なまち	取組分野	3. 生活安全
----	-------------------	------	---------

事業名： 河川整備事業 担当部署： 都市管理課 道路河川係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		54,563	54,421			48,900		5,521
目的	対 象			意 図				
	市民			大雨や融雪期の増水等による河川災害を未然に防止し、市民の安全を確保します。				
内取 容組		浸食・崩落等により線形が変化し危険を及ぼすおそれのある河川の護岸改修、大雨や融雪期の増水等に備えるための河川改修等を行います。						
実績		①第2小沢川 (護岸整備 延長80m) ②ルートモトイエナイ川 (浚渫 延長200m) ③トモルベシュベ川 (浚渫 延長150m) ④第2千草川 (護岸整備 延長20m) ⑤大沢川 (浚渫 延長100m) ⑥トーブト川 (浚渫 延長300m)						
方今 向後 性の		過去の河川の被災状況を分析し有効な対応策や手法を検討するとともに、必要な河川改修等を行います。						

事業名： 土砂災害ハザードマップ作成事業 担当部署： 総務防災課 防災係

年度		予算現額	決算額	財源内訳				(単位：千円)
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		652	583					583
目的	対 象		意 図					
	市民		土砂災害警戒区域等の住民に危険箇所や避難路等を周知することにより、注意喚起と土砂災害発生時の迅速な避難体制を構築します。					
内取 容組		北海道が指定した土砂災害警戒区域等の土砂災害ハザードマップを作成し、各地域の住民へ配付します。						
実績		土砂災害ハザードマップデータの作成：19地区（呼人11地区、大曲2地区、藻琴5地区、中園1地区） 土砂災害ハザードマップの配布：135名						
方今 向後 性の		土砂災害警戒区域等に変更が生じた際には、地域住民や地権者に新たな土砂災害ハザードマップを作成配付し、土砂災害に対する注意喚起と災害発生時の迅速な避難体制の構築に努めます。						

事業名： 全国瞬時警報システム整備事業 担当部署： 総務防災課 防災係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		2,430	2,322			2,300		22
目的	対 象			意 図				
	市民			緊急事態の発生時に市民への情報伝達を瞬時に行い、迅速な避難行動を促します。				
内取 容組	緊急地震速報やミサイル情報等を受信する全国瞬時警報システム（Jアラート）受信機を更新します。							
実績	全国瞬時警報システム（Jアラート）新型受信機を更新							
方今 向後 性の	緊急事態の発生に備え、全国瞬時警報システム（Jアラート）設備の適切な管理、運用を行います。							

事業名： 避難所環境整備事業

担当部署： 総務防災課 防災係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		2,693	2,581			2,500		81
目的	対 象		意 図					
	市民		災害時における、避難所の受入態勢の強化を図ります。					
内 取 容 組		災害時における暖房や照明の確保を図るため、避難所（10箇所）に非常用電源を整備します。						
実 績		整備箇所：4箇所 ①西網走コミュニティセンター ②西コミュニティセンター ③消防団第3分団詰所 ④消防団第4分団詰所						
方 今 向 後 性 の		引き続き、避難所に非常用電源を整備していきます。						

事業名： 防犯灯管理事業

担当部署： 市民活動推進課 市民活動推進係

年度			予算現額		決算額		財源内訳 (単位：千円)				
							国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30			13,649		13,648						13,648
目的	対 象					意 図					
	市民					防犯灯の設置・管理を行い、安全で安心な地域づくりを推進します。					
内容組		防犯灯の維持・管理を行います。									
実績		管理防犯灯数：2,481灯 ・市管理1,835灯 ・町内会管理646灯									
方今 向後 性の		網走市町内会連合会と連携し、防犯灯の維持と維持管理を行います。									

事業名： 新一年生交通安全啓発グッズ配布事業

担当部署： 市民活動推進課 市民活動推進係

年度		予算現額	決算額	財源内訳					(単位：千円)	
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源		
H30		72	71				71		0	
目的	対 象			意 図						
	小学1年生			新入学児童の交通事故抑止を推進します。						
内取 容組	小学1年生に対し、反射スクールバックを配布します。									
実績	反射スクールバックを配布 配布枚数：330枚（入学時に配布）									
方今 向後 性の	寄附者の意向に沿い、新入学児童への交通安全啓発のため、グッズ配布を平成30年度から令和4年度までの5カ年間、取り組む予定です。									

事業名：消費生活相談事業

担当部署：市民活動推進課 市民活動推進係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		4,587	4,560		1,866			2,694
目的	対 象		意 図					
	市民		日常の消費生活において生じた被害の早期解決や未然防止を図り、安心して暮らせる社会づくりを推進します。					
内取 容組	商品やサービスについてのさまざまな疑問や苦情、悪質商法などの契約トラブル、多重債務、振り込み詐欺等に関する相談窓口の開設及び相談員の養成・育成を行います。							
実績	消費者相談室の開設（網走消費者協会へ委託） ・相談件数：174件 ・主な相談内容：特殊詐欺、通信関係（利用契約、ワンクリック）、商品購入関係（保険不動産、健康食品等） ・窓口受付時間：平日の午前10時～午後4時（土日祝日を含む相談窓口案内番号188） ・相談員：4名							
方今 向後 性の	特殊詐欺やネット犯罪など新たな手口の消費者被害にも対応できるよう、今後も相談員の知識と技能の向上に努め、相談対応の向上を図ります。							

目標	2 豊かな自然と共生する安心なまち	取組分野	4. 環境
----	-------------------	------	-------

事業名： 瀬沸湖エコツーリズム推進事業 担当部署： 生活環境課 環境対策係

年度		予算現額	決算額	財源内訳					(単位：千円)
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源	
H30		500	426					426	
目的	対 象			意 図					
	市民及び来館者			ラムサール条約登録湿地である濤沸湖の環境保全と賢明な利用の両立を図ります。					
内取 容組	小清水町や関係団体と連携してエコツーリズムを推進するとともに、環境保全と利用者ニーズを考慮したローカルルールの見直しを行います。								
実績	①「とうふつ湖ぐるっと観察会」の開催：10月14日 参加者数21名 ②「ウトナイ湖の自然を伝えるプログラム」「知っておきたい鳥インフルエンザ」（講演会）の開催：12月2日参加者数16名 ③「農大生による『オホーツクの野鳥に関する研究報告会』」の開催：2月9日参加者数46名								
方今 向後 性の	今後も、観察会や講演会などの開催を通じ、エコツーリズムの考え方を広く周知するとともに、ラムサール条約登録湿地で国の鳥獣保護区となっている濤沸湖の自然環境の保全と賢明な利用に努めます。								

事業名： 花いっぱいのもちづくり推進事業 担当部署： 市民活動推進課 市民活動推進係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		3,314	3,256					3,256
目的	対 象			意 図				
	市民（町内会等）			地域住民の花によるまちの美化及び植花活動を通じた地域コミュニティ活動を推進します。				
内取 容組		町内会等に花苗を配付するとともに、花の植栽・管理の市民向けセミナーを開催し、地域の環境美化活動を支援します。						
実績		①花苗及び植栽ガイドブックの配付 ・参加団体：86団体 ・配布本数：39,265本 ②元気なお花を育てようセミナーの開催 開催日：5月19日（土）、参加者：45名、開催会場：網走監獄博物館						
方今 向後 性の		町内会を中心とした地域での花植は、環境美化活動とコミュニティの場となっているため、継続して取り組みます。						

事業名： ごみ質調査事業 担当部署： 生活環境課 清掃リサイクル係

年度		予算現額	決算額	財源内訳					(単位：千円)
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源	
H30		3,500	3,434					3,434	
目的	対 象			意 図					
	市民			市民によるごみの適切な分別を推進し、最終処分場の延命化を図ります。					
内取 容組		家庭系一般廃棄物及び事業系一般廃棄物の組成調査を実施し、異物の混入割合を把握します。							
実績		家庭系ごみの調査を6地区、事業系ごみの調査を6業種で実施し、ごみの組成を把握しました。 ・調査内容 ①家庭系ごみ 6地区（潮見地区、駒場南地区、向陽ヶ丘地区、つくしヶ丘地区、呼人地区、藻琴地区） ②事業系ごみ 6業種（オフィス、飲食店、ホテル、スーパー、学校、病院） ・調査結果 家庭系、事業系ともに資源物及び容器包装プラスチック、生ごみに占める異物の混入割合は低いが、埋立ごみに混入する資源物等の割合が高い結果が出ました。							
方今 向後 性の		平成30年度で完了しました。 一般廃棄物処理基本計画（平成22年度策定）の中間見直しや、廃棄物の減量・減容及び資源の再利用推進に向けた取り組みに活用します。							

事業名： 八坂処分場閉鎖事業

担当部署： 生活環境課 清掃リサイクル係

			財源内訳 (単位：千円)				
年度	予算現額	決算額	国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30	62,656	62,467			56,800		5,667
目的	対 象		意 図				
	市民		埋立終了した八坂最終処分場が周囲の環境に悪影響を及ぼさないよう、適正な管理を図ります。				
内取 容組	一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令に基づき、最終覆土工事を実施します。						
実績	最終形状形成及び覆土工事を実施 26,500㎡ 0.5m覆土						
方今 向後 性の	平成30年度で完了しました。						

事業名： 地球温暖化対策推進事業

担当部署： 生活環境課 環境対策係

年度		予算現額	決算額	財源内訳				(単位：千円)
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		4,942	4,928				4,791	137
目的	対 象		意 図					
	市民及び事業所		温室効果ガスの削減、省エネ、省資源などの取り組みを通じて、地球温暖化対策の推進を図ります。					
内取 容組	市民や事業者が実践できる取り組みの普及に向けた啓発を行うとともに、「第3期網走市役所地球温暖化対策実行計画」に基づき、市役所が率先して温室効果ガスの削減に取り組みます。							
実績	①第3期網走市役所地球温暖化対策実行計画に基づく取り組み（計画期間：平成29年度～令和3年度） ②「COOL CHOICE」及び「エコドライブ」の普及、啓発用チラシ及びポスターの作成、配付 ：配付部数「COOL CHOICE」チラシ 5,000部、ポスター 50枚 「エコドライブ」チラシ 1,000部 ③環境学習冊子（マンガ）の作成、配付（小学3～6年生）：配付部数 1,500部 ④環境学習会の開催：参加者 53名 ⑤エコドライブ測定器の貸し出し：貸し出し回数 0回 ⑥「COOL CHOICE」賛同者の募集：賛同者数 個人 162名、企業 58団体（総従業員数 2,648名） ⑦「網走市エコドライブ宣言」賛同者の募集：賛同者数 個人 120名、企業 1団体（総従業員数 5名）							
方今 向後 性の	温室効果ガスの削減に向けた市民一人ひとりの取り組みが全市的な取り組みとなるよう市民意識の向上を図るとともに、「第3期網走市役所地球温暖化対策実行計画」に基づき、継続して地球温暖化対策に取り組みます。							

目標	2 豊かな自然と共生する安心なまち	取組分野	5. 生活基盤
----	-------------------	------	---------

事業名： 市営住宅建設事業 担当部署： 建築課 建築係

年度		予算現額	決算額	財源内訳					(単位：千円)
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源	
H30		802,334	667,224	62,140		598,300		6,784	
目的	対 象			意 図					
	低所得の市民			住宅に困窮する低所得者に対して低廉な家賃の住居を提供し、市民生活の安定と社会福祉の増進を図ります。					
内取 容組	公営住宅建替・長寿命化計画(平成23年度策定)に基づき、老朽化している「つくしヶ丘第2団地」を建て替えます。								
実績	つくしヶ丘第2団地市営住宅の建設：1棟50戸（平成29～30年度の2カ年事業）								
方今 向後 性の	引き続き、老朽化した市営住宅の計画的な建て替えを進めます。								

事業名： 高齢者世帯地域優良賃貸住宅建設促進事業 担当部署： 建築課 建築係

年度		予算現額	決算額	財源内訳					(単位：千円)
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源	
H30		3,000	1,913	1,500				413	
目的	対 象			意 図					
	高齢者世帯			高齢者世帯に対して生活利便性の高いまちなか地区への居住を促進し、市民生活の安定と社会福祉の増進を図ります。					
内取 容組		地域優良賃貸住宅制度を活用して、利便性の高いまちなか地区に高齢者向け賃貸住宅を建設する事業者に対し、建設に係る経費の一部を補助します。（補助率6分の1以内、上限額なし）							
実績		・補助件数：1件 ・補助金額：1,913千円 ・補助内容：高齢者世帯地域優良賃貸住宅（1棟10戸）の実施設計							
方今 向後 性の		次年度に建設補助を行い、令和2年4月の供用開始を予定しています。							

事業名： 空き家等解体事業補助金 担当部署： 建築課 建築係

年度		予算現額	決算額	財源内訳					(単位：千円)
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源	
H30		4,000	2,400					2,400	
目的	対 象			意 図					
	空き家等の所有者			老朽化した空き家等の解体を促進し、良好な住環境の維持を図ります。					
内取 容組	管理不全の空き家や、現行の耐震基準以前（昭和56年5月31日以前）に建築された空き家等を解体する場合、除却に係る費用の一部を補助します。（補助率：2分の1以内 上限額：旧耐震基準300千円、特定空家等500千円）								
実績	・補助件数：8件（昭和56年5月31日以前に建築の住宅：8件、特定空家等：0件） ・補助金額：2,400千円								
方今 向後 性の	解体補助制度を周知し、良好な住環境の維持を図ります。								

事業名： 住環境改善補助金

担当部署： 建築課 建築係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		18,000	15,688					15,688
目的	対 象			意 図				
	自己居住用住宅を所有する市民、建築事業者			居住環境の向上を図るための改修等を支援し、住環境の向上と市内建築業の振興を図ります。				
内取 容組	市内在住の方が所有する自己用住宅を長寿命化、省エネルギー化やバリアフリー化などの改修を行う場合、改修に係る工事費の一部を助成します。（対象工事費の10％以内、限度額は一般世帯10万円、子育て世帯20万円、太陽光発電及びペレットストーブの導入は5万円）							
実績	補助件数：194件（一般世帯166件、子育て世帯26件、太陽光発電1件、ペレットストーブ1件）							
方今 向後 性の	引き続き、既存の住宅ストックを有効活用し、住環境の向上と市内建築業の振興を図ります。							

事業名： 賃貸住宅家賃支援補助金

担当部署： 建築課 建築係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		2,400	0					0
目的	対 象			意 図				
	低所得の子育て世帯、空き家所有者			地域にある空き家を活用し、住宅に困窮する低所得の子育て世帯に対して低廉な家賃の住居を提供し、市民生活の安定と社会福祉の増進を図ります。				
内取 容組	空き家を低所得の子育て世帯専用賃貸住宅として国のシステムに登録し、子育て世帯に賃貸した所有者に対し、入居者の所得に応じた家賃低廉化のための費用を助成します。							
実績	・登録住宅戸数：0戸 ・補助件数：0件 ※ 低所得の子育て世帯及び空き家所有者からの相談は数件あり。							
方今 向後 性の	空き家所有者に対し積極的な制度周知を図り、登録住宅の拡大に努めます。							

能取漁港整備特別会計

目的	能取漁港の背後地に造成した能取工業団地の施設管理及び土地の売却を行います。																										
主な取組内容	①能取工業団地の維持管理を行います。 ・公害防止施設の管理 ・団地内街路灯等の管理 ②能取工業団地の土地の売却を行います。																										
主な実績	①能取工業団地の維持管理 収入 ・公害防止施設使用料12,954 千円 ・雑入187 千円 支出 ・汚水処理施設維持管理13,089 千円 ②能取工業団地の土地の売却 近年の販売実績 <table><tr><td>・日本天然素材株式会社</td><td>3,359 m²</td><td>(平成20年度 10,752千円)</td></tr><tr><td>・網走合同定置</td><td>2,000 m²</td><td>(平成20年度 6,221千円)</td></tr><tr><td>・日本ホワイトファーム株式会社</td><td>300 m²</td><td>(平成22年度 1,080千円)</td></tr><tr><td>・市有財産整備特別会計</td><td>52,962 m²</td><td>(平成23年度 235,000千円)</td></tr><tr><td>・市有財産整備特別会計</td><td>25,000 m²</td><td>(平成27年度 97,500千円)</td></tr><tr><td>・株式会社ノースエナジー</td><td>6,290 m²</td><td>(平成28年度 19,526千円)</td></tr><tr><td>・日本ホワイトファーム株式会社</td><td>8,400 m²</td><td>(平成28年度 23,814千円)</td></tr><tr><td>・株式会社WIND-SMILE</td><td>60,443 m²</td><td>(平成29年度 163,456千円)</td></tr></table> ・売却可能総面積496,088 m² うち、売却済み面積419,694 m² うち、未売却面積76,394 m² ③特別会計経営に係る収支状況 実質収支H30 ▲245,134 千円H29 ▲247,535 千円			・日本天然素材株式会社	3,359 m ²	(平成20年度 10,752千円)	・網走合同定置	2,000 m ²	(平成20年度 6,221千円)	・日本ホワイトファーム株式会社	300 m ²	(平成22年度 1,080千円)	・市有財産整備特別会計	52,962 m ²	(平成23年度 235,000千円)	・市有財産整備特別会計	25,000 m ²	(平成27年度 97,500千円)	・株式会社ノースエナジー	6,290 m ²	(平成28年度 19,526千円)	・日本ホワイトファーム株式会社	8,400 m ²	(平成28年度 23,814千円)	・株式会社WIND-SMILE	60,443 m ²	(平成29年度 163,456千円)
・日本天然素材株式会社	3,359 m ²	(平成20年度 10,752千円)																									
・網走合同定置	2,000 m ²	(平成20年度 6,221千円)																									
・日本ホワイトファーム株式会社	300 m ²	(平成22年度 1,080千円)																									
・市有財産整備特別会計	52,962 m ²	(平成23年度 235,000千円)																									
・市有財産整備特別会計	25,000 m ²	(平成27年度 97,500千円)																									
・株式会社ノースエナジー	6,290 m ²	(平成28年度 19,526千円)																									
・日本ホワイトファーム株式会社	8,400 m ²	(平成28年度 23,814千円)																									
・株式会社WIND-SMILE	60,443 m ²	(平成29年度 163,456千円)																									
今後の方向性	庁内関係部署及び経済団体等と情報交換を行い、効果的な企業立地(誘致)の推進に取り組みます。																										

公共下水道及び特定環境保全公共下水道の整備区域外の住宅を対象に合併処理浄化槽を整備し、地域住民の生活環境の改善を図るとともに、当該地域から排出される生活排水による水質汚濁を防止し、環境及び水質保全を図ります。

主な取組内容	合併浄化槽の整備
--------	----------

①合併浄化槽設置	2 基	5,022 千円
②合併浄化槽管理委託		19,710 千円
③平成24～令和7年度までの事業計画及び進捗状況(第2次計画)		

主 な 実 績	年度別計画数	210	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
	年度別実績数		9	10	8	4	6	8	2	—	—	—	—	—	—	—
	累計実績数		9	19	27	31	37	45	47	—	—	—	—	—	—	—
	計画達成率		4%	9%	13%	15%	18%	21%	22%	—	—	—	—	—	—	—

【参考】平成12～23年度までの事業実績及び計画達成率(第1次計画)
(単位:基)

	計画数	H12～23実績
5人槽	258	81
6人槽	48	12
7人槽	36	132
8人槽	12	40
10人槽	6	40
14人槽	0	1
合計	360	306
計画達成率		85%

今後の方向性

平成23年度に策定した「生活排水処理基本計画」に基づき、合併浄化槽の整備を継続します。

簡易水道特別会計

目的	簡易水道給水区域の住民に、安全かつ清浄な水を安定的に供給するため、施設の適切な維持及び管理運営を行い、公衆衛生の向上と衛生的な生活環境の維持・改善を目指します。
主な取組内容	【管理運営】 ①水質の管理：水道法に基づく水質検査計画の策定、計画に基づく検査の実施及び残留塩素濃度の管理を行います。 ②施設の管理：機器・計器類の維持管理や施設のパトロールを行います。 ③管路の管理：漏水への対応や管路のパトロールを行います。 ④料金の徴収：収納率の向上に向け督促・催告・納入相談を実施します。 ⑤工事の管理：給水装置の新設、改造及び撤去に関する工事の受付並びにメーター更新を行います。 【飲料水対策事業（一般会計からの受託事業）】 ①浄水器設置助成：飲料水の水質基準を満たさない井戸の利用者が行う浄水器の設置に対して助成します。 ②飲用井戸の水質検査：上水道及び簡易水道の給水区域外にある井戸の水質検査を実施します。 ③飲用井戸の状況調査：市内の飲用井戸の実態を把握するため調査を行います。
主な実績	(1) 給水概要 ・能取地区 給水戸数 66戸 (H31.3) 有収水量 13,967m³/年 ・中央網走地 給水戸数138戸 (H31.3) 有収水量 24,899m³/年 (2) 管理実績 ①水質の管理 ・水質検査計画の策定 …水質検査計画を策定（毎年3月に策定） ・浄水一般検査（11項目） …毎月実施（飲料水基準に適合） ・原水一般検査（11項目） …年3回実施（飲料水基準に適合） ・浄水全項目検査（51項目） …年1回実施（飲料水基準に適合） ・原水全項目検査（40項目） …年1回実施（飲料水基準に適合） ・その他項目 …年3回実施（飲料水基準に適合） ・残留塩素濃度の管理 …監視システムにより監視（毎日） 必要に応じてタンクに薬液を加注（毎月1～2回） ②施設の管理 ・定期的に施設をパトロール（毎月1～2回） ・機器・計器類の点検・更新について計画に基づき実施 ③管路の管理 ・管路のパトロール（毎月1～2回） ・監視システムにより配水池の水位・流量等の監視（毎日） ④料金の徴収 ・H30収納率 現年分98.96% 滞納繰越分42.24% ・督促状 31件、催告書 4件、給水停止 1件 ⑤工事の管理 ・給水装置工事 新規 2件、改造 0件、撤去 0件 ・メーター更新工事 9件 (3) 飲料水対策事業 ①浄水器の設置助成 家庭用浄水器 2件、大型浄水器 1件、除鉄器 1件 ②飲用井戸の水質検査 171件(3年に1度の飲用井戸水質調査 171件、臨時検査 0件) ③飲用井戸の状況調査 305件
今後の方向性	・安全かつ清浄な水を供給できるよう水質・残留塩素濃度の適切な管理に努めます。 ・施設、管路の事故を未然に防ぐよう監視し、機器・計器類の点検・更新を計画的に実施します。 また、万が一事故が発生した場合は、「水道施設事故対策要綱」に基づき迅速に対応します。 ・料金の徴収については、督促・催告・収納相談など適切な対応に努めます。 ・飲料水の水質基準を満たしていない井戸利用者が行う浄水器の設置に対して、引き続き助成します。

公共下水道特別会計

目的	市民の生活環境の改善、公衆衛生の向上及び公共水域の保全を図ります。																																						
主な取組内容	①公共下水道の整備 ・浸水防除及び生活環境改善のため、汚水及び雨水管渠の整備を計画的に行います。 ・施設を適正に機能させるため、老朽化した施設の改善を効率的に行います。 ②特定環境保全公共下水道の整備 ・公共下水道の整備区域外である卯原内、二ツ岩、呼人、藻琴及び北浜地区の特定環境保全公共下水道を整備し、湖沼及びオホーツク海の環境や水質の保全を図ります。 ③地方公営企業法適用の推進 ・下水道事業の会計制度について、地方公営企業法の適用を進め、経営基盤の強化を図ります。 ④消化ガス発電設備の整備 ・下水道汚泥処理の過程で発生する消化ガスを有効利用した発電設備の建設を行い売電します。																																						
主な実績	①公共下水道の整備 ・社会資本整備総合交付金事業 - 計381,073千円 - 南部第2-2排水区雨水幹線管渠布設工事等（管渠 繰越）81,486千円 - 西部第1-1排水区実施設計業務委託等（管渠）17,893千円 - スラッジセンター消化槽加温設備更新等（処理場）127,528千円 - 左岸中継ポンプ場電気設備更新工事等（ポンプ場）110,520千円 - つくしヶ丘駒場幹線管渠改築工事等（管渠）17,784千円 ・単独事業 - 枝線管渠布設工事等（管渠）25,862千円 ②特定環境保全公共下水道の整備 - 計94,004千円 ・社会資本整備総合交付金事業 - 藻琴地区マンホールポンプ所更新工事等（ポンプ場）41,608千円 - 呼人地区汚水管渠布設工事（管渠）23,587千円 ・単独事業 - 枝線管渠布設工事等（管渠）28,809千円 ③地方公営企業法の適用 ・地方公営企業法適用推進事業 - 地方公営企業法適用業務委託7,085千円 ④消化ガス発電設備の整備 ・消化ガス発電施設整備事業 - スラッジセンター消化ガス発電設備設置工事等126,204千円 ⑤事業計画及び実績、普及状況 <table><thead><tr><th></th><th>事業計画 （平成30年度改定）</th><th>平成30年度末</th><th>進捗状況</th></tr></thead><tbody><tr><td>処理区域</td><td>1,650 ha</td><td>1,216 ha</td><td>73.7%</td></tr><tr><td>処理区域内人口</td><td>36,600 人</td><td>32,767 人</td><td>89.5%</td></tr><tr><td>管渠（汚水）</td><td>275,507 m</td><td>293,268 m</td><td>106.4%</td></tr><tr><td>管渠（雨水）</td><td>243,268 m</td><td>23,820 m</td><td>9.8%</td></tr><tr><td>総事業費</td><td>43,475,000 千円</td><td>44,708,973 千円</td><td>102.8%</td></tr><tr><td>普及状況</td><td colspan="2">総人口に占める普及状況</td><td>93.9%</td></tr><tr><td rowspan="2">水洗化率</td><td colspan="2">処理区域内人口に占める水洗化率</td><td>98.8%</td></tr><tr><td colspan="2">処理区域内戸数に占める水洗化率</td><td>98.8%</td></tr></tbody></table>					事業計画 （平成30年度改定）	平成30年度末	進捗状況	処理区域	1,650 ha	1,216 ha	73.7%	処理区域内人口	36,600 人	32,767 人	89.5%	管渠（汚水）	275,507 m	293,268 m	106.4%	管渠（雨水）	243,268 m	23,820 m	9.8%	総事業費	43,475,000 千円	44,708,973 千円	102.8%	普及状況	総人口に占める普及状況		93.9%	水洗化率	処理区域内人口に占める水洗化率		98.8%	処理区域内戸数に占める水洗化率		98.8%
	事業計画 （平成30年度改定）	平成30年度末	進捗状況																																				
処理区域	1,650 ha	1,216 ha	73.7%																																				
処理区域内人口	36,600 人	32,767 人	89.5%																																				
管渠（汚水）	275,507 m	293,268 m	106.4%																																				
管渠（雨水）	243,268 m	23,820 m	9.8%																																				
総事業費	43,475,000 千円	44,708,973 千円	102.8%																																				
普及状況	総人口に占める普及状況		93.9%																																				
水洗化率	処理区域内人口に占める水洗化率		98.8%																																				
	処理区域内戸数に占める水洗化率		98.8%																																				
今後の方向性	下水道整備は概ね新規投資を完了し、平成20年度以降は黒字経営となっています。今後は管路及び施設の維持補修ならびに計装機器類の更新等を重点的に行います。管路の老朽化による布設替は、調査を実施した結果に基づき計画的に行います。冠水対策として、つくしヶ丘・駒場地区の排水管整備を平成26～令和3年度の8カ年計画で実施します。 地方公営企業法の適用については、令和2年度を予定しています。																																						

目標	3	ひとが集いにぎわいと活力を生むまち	取組分野	1. 農林業
----	---	-------------------	------	--------

事業名： 農業担い手実践研修支援事業 担当部署： 農林課 農業振興係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		3,005	2,507					2,507
目的	対 象			意 図				
	農業者 (オホーツク網走農業協同組合)			網走農業の発展に寄与するため、優れた農業経営者や地域リーダーの育成を図ります。				
内 取 容 組		オホーツク網走農業協同組合が新規就農者を対象に行う、圃場作業から経営管理に至るまでの実践的な技術・技能・知能を習得するための研修に対して支援します。						
実 績		参加者数：新規就農者16名（1年生8名、2年生8名）						
方 今 向 後 性 の		将来の農業経営者、地域のリーダーとなる農業の担い手を育成することにより、網走農業の発展に寄与できる人材の育成を図ります。						

事業名： 安全・安心な農作物生産事業補助金 担当部署： 農林課 農業振興係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		1,850	1,781					1,781
目的	対 象			意 図				
	農業者 (オホーツク網走農業協同組合)			土壌分析に基づく効率的な施肥技術の体系を構築し、また青果物の残留農薬検査の推進により、安全・安心な農産物の生産を推進します。				
内取 容組	①オホーツク網走農業協同組合が、効果的かつ局所的な施肥技術の体系構築のために実施する土壌分析等の費用の一部を助成します。(対象経費の2分の1以内) ②青果生産団体が行う残留農薬検査に対する費用の一部を助成します。(対象経費の2分の1以内)							
実績	①土壌分析 対象戸数：214戸 分析点数：1,118点 ②残留農薬分析 補助対象者：11団体 検査点数：26点							
方今 向後 性の	効率的な施肥技術の体系構築及び安全・安心な農産物の生産を目指し、環境と経営の両面から持続可能な農業経営の体質強化支援を継続します。							

事業名： ジャガイモシロシストセンチュウ緊急防除事業 担当部署： 農林課 農業振興係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		163,455	68,150		68,150			0
目的	対 象		意 図					
	農業者		日本で初めて確認されたジャガイモシロシストセンチュウのまん延防止・早期根絶を図ります。					
内取 容組	①ジャガイモシロシストセンチュウが確認された圃場を所有する農業者に防除協力金を支払います。 ②ジャガイモシロシストセンチュウ緊急防除作業に関する調整・注意喚起を行います。							
実績	①防除協力金 63,812千円 ②土壌消毒時の注意に関するパンフレットを地域住民へ配布 飲用井戸の水質検査実施調整等							
方今 向後 性の	ジャガイモシロシストセンチュウのまん延防止・早期根絶を目指し、国、北海道及び農業団体と連携しながら対策を進めます。							

事業名： 畜舎防疫事業補助金

担当部署： 農林課 農業振興係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		350	313					313
目的	対 象			意 図				
	農業者			畜舎の消毒を推進し、家畜伝染病の発生を予防します。				
内 取 容 組	畜舎消毒のため石灰塗布を行った家畜飼養者に対し、洗浄・消毒に要した経費の一部を助成します。（対象経費の2分の1以内、5万円を限度）							
実 績	・ 補助対象：8件 ・ 補助額 ：313千円							
方 今 向 後 性 の	家畜伝染病を予防し、良品質な畜産物の安定生産を図ります。							

事業名： 道営担い手支援畑総事業分担金（5事業）

担当部署： 農林課 耕地林務係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		309,482	238,617		108,610	27,400	93,158	9,449
目的	対 象		意 図					
	農業者		農地の基盤整備を通じて、農業生産性の向上や生産経費の低減を図り、安定した農業経営の確立を図ります。					
内取 容組	土地改良法に基づく道営土地改良事業として、農地の区画整理、暗渠排水整備や土層改良などの基盤整備を行った受益農業者の負担（20％）を軽減するため、その一部を助成します。							
実 績	事業費		(負担額)	事業				
	①網走中部北地区		: 216,537千円 (44,082千円)	暗渠排水44.1ha・区画整理 26.8ha・客土35.4ha				
	②網走藻琴地区		: 365,288千円 (73,058千円)	暗渠排水37.7ha・区画整理 83.6ha・客土 9.0ha				
	③網走西部川向地区		: 415,292千円 (83,058千円)	暗渠排水62.1ha・区画整理112.4ha・客土28.1ha				
	④平和地区		: 135,596千円 (27,119千円)	暗渠排水 4.0ha・区画整理 32.4ha・客土 7.7ha				
	⑤南部東第2地区		: 56,498千円 (11,300千円)	調査（測量）設計				
方今 向後 性の	農業経営の安定化を図るため、北海道の補助事業を活用しながら支援を継続します。							

事業名： 鳥獣害防止対策事業

担当部署： 農林課 耕地林務係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		5,731	5,353		170		36	5,147
目的	対 象			意 図				
	農業者			有害鳥獣による農林畜産業被害や人身被害等の低減を図るため、有害鳥獣の捕獲や被害防止対策を推進します。				
内取 容組	農林水産業等に係る鳥獣被害の低減を図るため、有害鳥獣の捕獲及びパトロールを実施します。							
実績	①捕獲件数：エゾシカ307頭、キツネ115頭、カラス609羽、ドバト1羽、キジバト39羽、ヒグマ2頭 ②パトロール出勤回数：49回（実46日・延べ83名）（クマ出没対応のため）							
方今 向後 性の	有害鳥獣による農林畜産業被害や人身被害等の防止に努めます。							

事業名： 農業農村多面的機能発揮促進事業

担当部署： 農林課 耕地林務係

事業名：農業農村分野の機能発揮促進事業			担当部署：農林課 新地林務係			(単位：千円)		
年度		予算現額	決算額	財源内訳				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		153,706	153,675		114,321			39,354
目的	対 象			意 図				
	市民（郊外地区）			道路や水路などの維持管理のため、地域協議会を結成し、地域の良好な環境保全を図ります。				
内取 容組		市内4つの地域協議会が行う道路や水路等の維持管理に係る活動経費に対し助成します。						
実績		・補助額：151,095千円（市負担割合1/4、37,774千円） （市負担分：西部地区12,684千円、市地区3,153千円、東部地区8,767千円、南部地区13,170千円） ・補助割合：国1/2、道1/4、市1/4 ・補助単価：畑1,360円/10a（うち、市負担 1,360円/10a×1/4＝340円） ・事務費：2,580千円（うち、網走市4地区資源保全連絡協議会1,480千円、市分1,100千円）						
方今 向後 性の		郊外地区は、高齢化や過疎化により地域機能の低下が懸念されていることから、道路や農業用水等の適切な維持管理が図られるよう、支援を継続します。						

事業名： 林地台帳システム整備業務

担当部署： 農林課 耕地林務係

年度		予算現額	決算額	財源内訳				(単位：千円)
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		1,815	1,598					1,598
目的	対 象			意 図				
	森林所有者			森林所有者や境界等の情報を一元的にとりまとめ、施業の集約化や適切な森林整備の推進を図ります。				
内取 容組	森林の土地の所有者や林地の境界に関する情報を網羅した林地台帳システムを整備します。							
実績	林地台帳システムの導入 1,598千円							
方今 向後 性の	平成30年度で完了しました。							

事業名： 森林整備補助金

担当部署： 農林課 耕地林務係

年度			財源内訳				(単位：千円)	
予算現額		決算額	国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源	
H30		18,918	18,918	6,699		5,340	6,879	
目的	対 象		意 図					
	森林所有者（網走地区森林組合）		民有林の資源造成及び森林が有する公益的な機能の充実を図ります。					
内取 容組	網走市森林整備計画に基づき、網走地区森林組合が行う計画的な森林整備事業を支援します。							
実績	①造 林：補助対象者78名、補助金額14,706千円、面積179.93ha ②下草刈：補助対象者58名、補助金額 2,382千円、面積158.77ha ③枝打ち：補助対象者 5名、補助金額 183千円、面積 20.46ha ④除間伐：補助対象者14名、補助金額 991千円、面積 49.55ha ⑤その他：補助金額656千円（民有林総合整備促進事業補助金）							
方今 向後 性の	森林の多面的な機能を発揮させるため、民有林の整備を継続して実施します。							

目標	3	ひとが集いにぎわいと活力を生むまち	取組分野	2. 水産業
----	---	-------------------	------	--------

事業名： ナマコ中間育成試験事業 担当部署： 水産漁港課 漁業振興係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		302	285					285
目的	対 象		意 図					
	ナマコ漁業者 (網走漁業協同組合及び西網走漁業協同組合)		市場価格が高騰しているナマコについて、新たな栽培漁業対象種としての可能性を研究します。					
内取 容組		平成22年度より種苗生産試験を行い、50万尾以上の中間育成種苗（付着幼生）の生産が可能となったことから、安定的な採苗及び中間育成手法の確立に向けた試験を実施します。						
実績		・ ナマコ付着幼生生産尾数：245万尾 ・ 網走沿岸域への当歳放流尾数：約68.2万尾（約0.34mm） ・ 能取湖への当歳放流尾数：約176万尾（約0.38mm） ・ 中間育成個体放流数 網走沖：1.5万尾(体長14.2mm、生残率7.5%) 能取湖：1.1万尾(体長8.2mm、生残率8.7%)						
方今 向後 性の		種苗生産及び中間育成について一定の技術が確立されましたが、放流追跡技術を北海道が開発中のため、本事業を一旦休止します。						

事業名： ホッケイエビ資源増大試験研究事業 担当部署： 水産漁港課 漁業振興係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		900	894					894
目的	対 象			意 図				
	能取湖漁業者（西網走漁業協同組合）			資源減少が見られるホッケイエビの資源増大を図ります。				
内 取 容 組		東京農業大学と連携しホッケイエビの資源増大に向けた研究を行います。						
実 績		ホッケイエビの種苗生産試験の実施 成長及び生残に遺伝的要素が強く影響しており、人為的な成長促進により性成熟を1年短縮させられることが確認されました。						
方 今 向 後 性 の		資源増大対策の可能性を検証し、能取湖のホッケイエビ漁業の安定化を図ります。						

事業名： 濤沸湖シジミ漁業再生事業補助金 担当部署： 水産漁港課 漁業振興係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		648	648					648
目的	対 象			意 図				
	濤沸湖漁業者（網走漁業協同組合）			濤沸湖におけるシジミ漁業の再生を目指します。				
内取 容組	網走川から濤沸湖にシジミを移植し、東京農大と連携して追跡調査します。							
実績	①網走川から7.1 t のシジミを移植（5～6月） ②追跡調査（10月）では平均殻長で2mm程度の成長が確認され、約9割の生残を確認							
方今 向後 性の	シジミの移植や追跡調査を継続し、安定的な出荷体制の構築を図り、自立的な濤沸湖シジミ漁業を目指します。							

事業名： 「おいしいまち網走」PR事業

担当部署： 商工労働課 商工労働係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		743,815	708,472				708,472	0
目的	対 象			意 図				
	市内企業者及び市外の寄附者			当市を応援する市外の個人との広域的な連携を通じ、地場産業の振興とふるさと寄附金の収入確保を図ります。				
内取 容組		ふるさと納税制度により寄附をされた市外の方に、謝礼として地場特産品を贈呈します。						
実績		・ 寄附額：1,455,305千円 ・ 寄附件数：51,623件 ・ サイト掲載数：5サイト(ふるさとチョイス＝ふるぽ、ANAのふるさと納税、楽天、さとふる、ふるさとプレミアム) ・ 参加企業数：47企業 ・ 掲載商品数：1,674点						
方今 向後 性の		引き続き、ふるさと納税制度の趣旨に則って、地場産業の振興及びふるさと寄附金の収入確保に取り組みます。						

事業名： 北海道HACCP導入支援事業

担当部署： 水産漁港課 漁政係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		2,000	292					292
目的	対 象			意 図				
	水産加工事業者			北海道HACCP認証等の取得に向けた取り組みを支援することにより、水産加工事業者の衛生管理体制を強化し、対外競争力の向上と販路拡大を図ります。				
内取 容組	北海道HACCP認証等の取得に係る費用の一部を助成します。 ・補助率：2分の1以内（上限1,500千円） ・補助対象経費：北海道HACCP認証等取得のために必要な経費（消耗品費、修繕料、工事請負費、備品購入費等）							
実績	・補助件数：水産加工事業者1件 ・補助金額：292千円							
方今 向後 性の	引き続き、水産加工事業者の北海道HACCP認証等の取得に向けた取組を支援します。							

事業名： 水産加工フェスティバル開催事業

担当部署： 水産漁港課 漁政係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		355	339					339
目的	対 象			意 図				
	水産加工事業者			市内で製造している水産加工品の地元での認知度向上と消費拡大を図ります。				
内 取 容 組		水産加工事業者による水産加工品の試食、即売会を実施します。						
実 績		・開催概要：2月24日（日）午前10時30分～午後2時（エコーセンター） ・来場者数：700名 ・出展者数：6団体（5事業所、1団体） ・開催内容：試食・即売会の開催、セリ売り、塗り絵コーナー、子どもビンゴ大会などを実施 ※市農林課主催の「あばしり小麦フェスタ」と同時開催						
方 今 向 後 性 の		地場水産加工品の地元での認知度向上と消費拡大に向けた取組を推進します。						

目標	3	ひとが集いにぎわいと活力を生むまち	取組分野	3. 観光
----	---	-------------------	------	-------

事業名： 網走川筋環境整備事業 担当部署： 都市整備課 計画係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		5,000	2,106					2,106
目的	対 象			意 図				
	市民及び観光客			市民や観光客の憩いの場となるよう網走川沿いを整備し、魅力の向上を図ります。				
内取 容組		「網走かわまちづくり計画」（平成27年度策定）に基づき網走川沿いの環境を整備します。						
実績		①網走かわまちづくり検討会の開催 2回 ②網走かわまちづくり附属施設の実施設設計（遊歩道、街路灯、案内板）						
方今 向後 性の		網走川沿いの賑わいを創出するため、市民や観光客の憩いの場となるよう整備を進めます。						

事業名： 外国人観光客インフォメーション事業 担当部署： 観光課 観光振興係

年度		予算現額	決算額	財源内訳				(単位：千円)
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		5,709	5,709					5,709
目的	対 象		意 図					
	観光事業者及び外国人観光客		外国人観光客への案内対応などを充実し観光産業の発展を図ります。					
内取 容組		J R 網走駅観光案内所における英語圏の観光案内・観光情報発信 道の駅観光案内所における英語及び中国語での観光案内・観光情報発信						
実績		観光案内所における外国人観光客案内数（網走駅＋道の駅 2カ所合計） 平成26年度 9,498名 平成27年度 9,500名 平成28年度 9,408名 平成29年度 10,150名 平成30年度 10,217名						
方今 向後 性の		外国人観光客の観光需要は年々高まっており、外国語（英語・中国語）の案内対応の充実を進めます。						

事業名： アドベンチャートラベル推進事業 担当部署： 観光課 広域観光推進係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		800	800					800
目的	対 象			意 図				
	参加者及び市民			自然体験を通じて、オホーツクの魅力、良さを内外に発信し、地域の活性化及び発展を図ります。				
内取 容組	小清水町、(株)モンベルとオホーツクSEA TO SUMMIT実行委員会を設立し、「SEA TO SUMMIT」の開催に向けて取り組みます。 初開催のため、大会開催準備や他大会視察、新たなコンテンツであるカヤックの整備を行います。							
実績	①カヤック購入 10艇 ②大会視察（東川町、加美町）							
方今 向後 性の	平成31年度からは「オホーツクシートゥーサミット開催事業」として事業を継続します。							

事業名： 外国人観光客誘致対策プロモーション事業 担当部署： 観光課 広域観光推進係

年度	予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30	6,344	4,825					4,825
目的	対 象		意 図				
	観光事業者及び外国人観光客		外国人観光客の誘客を増大させ、観光産業の活性化を図ります。				
内取 容組	ひがし北海道自然美への道DMO、女満別空港国際チャーター便誘致協議会などと連携し、観光プロモーションを実施します。						
実績	<主な事業> ①香港ブックフェア出展 7月18～24日 ②北海道観光誘致緊急派遣団参加（韓国） 10月18～20日 ③V J 事業中国プロモーション 10月29日～11月3日 ④ひがし北海道3市（釧路、帯広、網走）台湾B to Cセミナー 11月8～13日						
方今 向後 性の	ひがし北海道自然美への道DMOや、釧路市、帯広市など他の自治体などと連携して、外国人観光客の誘客を促進するため、海外におけるプロモーション活動や旅行会社、メディア等の招聘を行います。						

事業名： 網走バル魅力発信事業 担当部署： 観光課 広域観光推進係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		1,644	1,644					1,644
目的	対 象		意 図					
	観光事業者		「おいしいまち網走」のブランド化を進め、観光産業の活性化を図ります。					
内取 容組	道央圏におけるABASHIRIバルのPRや観光情報の発信を行います。							
実績	「おいしい夏とガッチャンコ！HBC赤レンガプレミアムフェスト」に出展し、ABASHIRIバルの楽しみ方、お店の魅力などをPRするほか、網走の観光情報の提供を実施しました。 ・期 間 7月13～16日 ・来場者数 6万550人 ・PR内容 ABASHIRIバルのPRとメニューの一部を紹介・販売 ・販売実績 せんべろセット 4日間 1,214セット ドリンク単品 4日間 266杯							
方今 向後 性の	平成30年度で完了しました。							

事業名： オホーツク網走マラソン開催負担金 担当部署： 観光課 観光振興係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		11,900	11,900				6,400	5,500
目的	対 象		意 図					
	観光事業者及びランナー、市民		マラソンの開催により地域の活性化を図るとともに、大会への参画を通じて市民のホスピタリティ精神を育成します。					
内取 容組		「オホーツク網走マラソン2018」を市民ボランティアや市内企業・団体と協働して開催します。						
実績		・開催日：9月30日 ・エントリー数：フルマラソン(42.195km) 2,306名、5km 347名、3km 93名 計2,746名 ・出走者数：フルマラソン 1,988名、5km 292名、3km 91名 計2,371名 ・運営スタッフ数：1,203名（ボランティア860名、実行委員会・市職員343名）						
方今 向後 性の		満足度の高い大会を目指して引き続き開催します。						

事業名： 友好都市マラソン交流・PR事業

担当部署： 観光課 観光振興係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		708	699					699
目的	対 象			意 図				
	市民			「天童ラ・フランスマラソン」へのエイド出店、及び市民ランナーの派遣により、オホーツク網走マラソンのPRならびに、両市の交流を深めます。				
内取 容組	観光物産交流都市の山形県天童市で開催される「天童ラ・フランスマラソン」に ①市民ランナー（公募）を派遣（旅費の一部を補助）します。 ②網走食材を利用したエイドを出店します。							
実績	・開催日 : 11月4日 ・場所 : 山形県天童市 山形県総合運動公園／NDソフトスタジアム山形 ・派遣人数 : 5名							
方今 向後 性の	引き続きエイド出店や市民ランナーの派遣を通じて、天童市とのマラソン交流を深めるとともに網走マラソンのPRを行います。							

事業名： 国内宣伝PR事業

担当部署： 観光課 広域観光推進係

年度		予算現額	決算額	財源内訳				(単位：千円)
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		4,000	3,600					3,600
目的	対 象			意 図				
	観光事業者			国内の観光客を誘客し、観光産業の活性化を図ります。				
内取 容組		旅行雑誌及びWEBサイトを活用して、網走観光のPR活動を行います。						
実績		①旅行雑誌「北海道じゃらん」への掲載 年3回（5月号、9月号及び2月号） ②ひがし北海道自然美への道DMO「EASTERN TIME」（WEB）掲載 ③Instagram（インスタグラム）広告料 ④旅行雑誌「るるぶ冬の北海道'18」への広告掲載						
方今 向後 性の		引き続き、旅行雑誌等の様々なメディアや宣伝媒体を積極的に活用し、観光客の誘致促進に取り組みます。						

事業名： ひがし北海道空港連携海外観光客誘致事業

担当部署： 観光課 広域観光推進係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		1,500	1,423					1,423
目的	対 象			意 図				
	観光事業者及び外国人観光客			女満別空港・釧路空港・帯広空港のエリアが連携して施策に取り組み、広域エリアであるひがし北海道への外国人観光客の誘客を図ります。				
内取 容組	女満別空港・釧路空港・帯広空港エリアが連携し、台湾など東アジアへひがし北海道としてプロモーションを行い、魅力をPRします。							
実績	①台湾プロモーション（TTJ）の実施 8月24～27日 ②台湾3市BtoCセミナーの開催 8月10～11日 ③台湾向け情報発信（トラベルバー） 8月24日～10月31日 ④キャンペーンパンフレット配布 媒体名：ひがし北海道冬へのいざない							
方今 向後 性の	航空会社・旅行会社への支援策や新たな市場開拓を検討するため継続した情報収集やPRを行います。							

事業名： 閑散期対策商品造成事業

担当部署： 観光課 広域観光推進係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		8,500	7,920					7,920
目的	対 象			意 図				
	観光事業者			観光閑散期に宿泊観光客の誘客を行い、観光産業の活性化を図ります。				
内取 容組	観光閑散期に市内に宿泊する旅行商品を造成する事業者に対し1名につき1泊2,000円を助成します。							
実績	①国内バスツアー宿泊実績 : 1,960人泊 ②インバウンドバスツアー宿泊数 : 1,566人泊 ③J R 北海道利用募集型企画旅行助成利用者数 : 184人泊							
方今 向後 性の	観光産業の活性化を図るために、観光閑散期の誘客を促進する取組を推進します。							

事業名： 鉄道利用型観光客誘致促進事業

担当部署： 観光課 広域観光推進係

年度		予算現額	決算額	財源内訳				(単位：千円)
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		4,200	274					274
目的	対 象			意 図				
	観光事業者及び市民			鉄道を利用する観光客の誘客を行い、ＪＲの利用促進と観光産業の活性化を図ります。				
内取 容組	ＪＲ北海道とＬＣＣ運航会社（Ｐｅａｃｈ、バニラエア）が提携して発売する「ひがし北海道フリーパス」及びＦＩＴ（海外個人旅行）観光客が多く利用する「北海道レールパス」を使い、網走市内で宿泊する旅行者に対し、宿泊代金の一部（2,000円/人泊）を助成します。							
実績	①バニラひがし北海道フリーパス：18名 ②Ｐｅａｃｈひがし北海道フリーパス：10名 ③北海道レールパス：9名							
方今 向後 性の	引き続き観光産業の活性化と鉄道利用の促進を図るため、取り組みます。							

目標	3	ひとが集いにぎわいと活力を生むまち	取組分野	4. 商工業
----	---	-------------------	------	--------

事業名： 一般資金貸付事業 担当部署： 商工労働課 商工労働係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		785,565	696,899				696,899	0
目的	対 象			意 図				
	中小企業者等			中小企業等に対する金融の円滑化を図ります。				
内 取 容 組		中小企業者等に対する融資が円滑に実行されるよう、市内の金融機関に融資の原資を預託します。						
実 績		・新規貸付 件数：119件 金額：904,968千円 ・貸付残高 件数：289件 金額：1,402,706千円 ・預託金額：696,899千円						
方 今 向 後 性 の		中小企業等の経営の安定を図るため、継続して取り組みます。						

事業名： 起業化支援事業補助金 担当部署： 商工労働課 商工労働係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		1,160	1,000					1,000
目的	対 象			意 図				
	新規起業者等			地域経済の活性化と雇用の創出を図ります。				
内 取 容 組		新たに市内で店舗型の事業を起こそうとする個人または小規模企業者（新規起業者等）を対象に、店舗開業に要する経費の2分の1以内（上限500千円）を助成します。						
実 績		・ 補助件数：2件 ・ 補助金額：1,000千円						
方 今 向 後 性 の		起業しやすい環境を整備するため、開業や新規事業に取り組む方を継続して支援し、地域経済の活性化と雇用の創出を図ります。						

事業名： 空き店舗・空き地活用事業補助金 担当部署： 商工労働課 商工労働係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		2,810	2,810					2,810
目的	対 象			意 図				
	中心市街地への新規出店者			中心市街地の賑わい創出を通じて、経済の活性化を図ります。				
内取 容組		南四条通り等の空き店舗または空き地を活用し、商店街に新たな店舗（小売業、飲食店、サービス業）を開設する方に対し、店舗改修費用及び店舗借上家賃の一部を助成します。						
実績		①店舗改修補助 件数：2件 金額：2,000千円 ②借上家賃補助 件数：4件 金額：810千円						
方今 向後 性の		中心市街地の賑わいや経済の活性化を図るため、継続して取り組みます。						

事業名： 再生可能エネルギー活用調査事業

担当部署： 商工労働課 商工労働係

			財源内訳				(単位：千円)
年度	予算現額	決算額	国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30	918	516					516
目的	対 象		意 図				
	企業者		バイオマス発電時に発生する排熱等を活用した、新ビジネス展開や企業誘致により、地域経済の活性化と雇用の創出を図ります。				
内取 容組	バイオマス発電の排熱等を活用した事例や当市における事業化の可能性を調査します。						
実績	再生可能エネルギー活用調査の結果を踏まえ、関連機関の視察、関連団体との協議を実施 視察調査 ・ ・ ・ 1件（排熱利用による水産物養殖研究機関） 関係団体協議 ・ ・ ・ 4回（視察調査結果に基づく、事業可能性協議）						
方今 向後 性の	バイオマス発電の排熱等を利用した事例等の研究を進め、地域経済の活性化と雇用の創出を目指します。						

能取漁港整備特別会計

目的	能取漁港の背後地に造成した能取工業団地の施設管理及び土地の売却を行います。		
主な取組内容	①能取工業団地の維持管理を行います。 ・公害防止施設の管理 ・団地内街路灯等の管理 ②能取工業団地の土地の売却を行います。		
主な実績	①能取工業団地の維持管理 収入 ・公害防止施設使用料 12,954 千円 ・雑入 187 千円 支出 ・污水处理施設維持管理 13,089 千円 ②能取工業団地の土地の売却 近年の販売実績 ・日本天然素材株式会社 3,359 m ² (平成20年度 10,752千円) ・網走合同定置 2,000 m ² (平成20年度 6,221千円) ・日本ホワイトファーム株式会社 300 m ² (平成22年度 1,080千円) ・市有財産整備特別会計 52,962 m ² (平成23年度 235,000千円) ・市有財産整備特別会計 25,000 m ² (平成27年度 97,500千円) ・株式会社ノースエナジー 6,290 m ² (平成28年度 19,526千円) ・日本ホワイトファーム株式会社 8,400 m ² (平成28年度 23,814千円) ・株式会社WIND-SMILE 60,443 m ² (平成29年度 163,456千円) ・売却可能総面積 496,088 m ² うち、売却済面積 419,694 m ² うち、未売却面積 76,394 m ² ③特別会計経営に係る収支状況 実質収支 H30 ▲245,134 千円 H29 ▲247,535 千円		
今後の方向性	庁内関係部署及び経済団体等と情報交換を行い、効果的な企業立地(誘致)の推進に取り組みます。		

目標	3	ひとが集いにぎわいと活力を生むまち	取組分野	5. 産業振興
----	---	-------------------	------	---------

事業名： U・Iターン就職推進事業 担当部署： 商工労働課 商工労働係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		500	235					235
目的	対 象			意 図				
	中小企業者等			定住人口の拡大と労働力の確保を図ります。				
内取 容組	①U・Iターン就職者向け合同企業説明会等に出展する企業に対して、出展に係る経費の2分の1（上限150千円以内）を補助します。 ②北海道人材誘致協議会が発行する機関誌に網走市のU・Iターン情報を継続的に掲載します。							
実績	①U・Iターン就職推進事業補助金 ・補助件数：1件 ・補助金額：35千円 ②北海道人材誘致推進協議会への活動支援 100千円 ③SNSによる情報発信 100千円							
方今 向後 性の	網走にゆかりや関心のある若者などに向けて、市内企業の就職情報や地域情報の発信に引き続き取り組み、定住人口の拡大と労働力の確保を図ります。							

事業名： 地域コミュニティ交通対策事業 担当部署： 商工労働課 商工労働係

年度		予算現額	決算額	財源内訳				(単位：千円)
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		5,886	5,886					5,886
目的	対 象			意 図				
	市民			市内の公共交通空白地域の解消及び市内公共交通の維持・確保を図ります。				
内 取 容 組		一定程度の人口集積があるにも関わらず、公共交通の空白地域となっている地域の解消を図るため、必要と認める路線の運行経費の一部を助成します。						
実 績		・対象路線：2路線（西山通線、ニツ岩線） ・補助金額：西山通線 5,691千円 ニツ岩線 195千円						
方 今 向 後 性 の		網走市地域公共交通活性化協議会での議論を経ながら、継続して取り組みます。						

事業名： 女性・高齢者就労支援事業 担当部署： 商工労働課 商工労働係

年度		予算現額	決算額	財源内訳				(単位：千円)
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		350	325					325
目的	対 象			意 図				
	女性及び高齢者、企業者			労働力の確保に向けて、女性と高年齢者の就労を促進します。				
内取 容組	①女性の就労や起業を促進する内容のセミナーを開催する団体を支援します。 ②概ね55歳以上の男女を対象に、合同企業説明会を開催します。							
実績	①つながろうオホーツク女性のおしごと見本市（4月28日開催） 講師：安西 ゆかり氏 参加者数：120名 主催：オホーツクキャリアデザインフォーラム実行委員会 ②高年齢者向け合同企業説明会（8月18日開催） 参加事業所数：9社 参加者数：27名 雇用実績：4名（9社のうち4社で各1名雇用）							
方今 向後 性の	網走商工会議所及び網走公共職業安定所等と連携し、女性や高年齢者の就労意識の高揚を図り、労働力の確保に努めます。							

事業名： 建築技能者等地域定着促進事業

担当部署： 商工労働課 商工労働係

事業名：建築技能者等地域定着促進事業			担当部署： 国土労働課 国土労働課					
年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		3,850	1,808				1,808	0
目的	対 象			意 図				
	網走地域で建築技能者として就業を目指す方及び地域の建築技能者等			建築関連の業務従事者への各種支援ならびに建築関連の業務に従事しようとする方への修学支援を行い、建築技能者の人材確保及び技能向上を図ります。				
内容組	網走地域建築技能者等地域定着促進運営協議会が行う人材養成事業（建築技能者の技能技術向上のための研修会等に対する助成制度）及び人材確保事業（建築技能者を対象して道立高等技術専門学院等で修学する方を対象とする修学資金制度）を支援します。							
実績	①人材養成事業（業界団体等が実施する5事業に対する助成） ・参加者合計：63名、助成額合計：608千円 ②人材確保事業（修学資金の貸与） ・貸与者：2名、貸与額合計：1,200千円							
方今向後性の	人材養成事業は平成22年度、人材確保事業は平成23年度からそれぞれ概ね10年間を目途に実施することとしていますが、期間の延長を検討します。							

目標	4 豊かなひとを育むまち	取組分野	1. 学校教育
----	--------------	------	---------

事業名： 網走市読書感想文コンクール開催事業 担当部署： 学校教育課 学務係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		307	293					293
目的	対 象		意 図					
	児童及び生徒		読書の楽しさ、素晴らしさを体験させ、読書の習慣化を図り、さらに感動を文章で表現することを通じて、豊かな人間性や考える力を育みます。					
内取 容組		児童及び生徒を対象に、読書感想文の作品を募り、コンクールを開催します。						
実績		・応募作品数：2,000点（小学校1,431点、中学校569点） （小学校）1年生 134点、2年生 292点、3年生 265点、4年生 275点、5年生 197点、6年生 268点 （中学校）1年生 284点、2年生 246点、3年生 39点 ・賞：各部門ごとに最優秀賞1点、優秀賞1点、佳作1～2点を選出						
方今 向後 性の		読書感想文コンクールの開催を通じ、読書の習慣化と思考力、表現力の向上を図ります。						

事業名： 日体大高等支援学校入学支援補助金 担当部署： 企画調整課 企画係

年度		予算現額	決算額	財源内訳					(単位：千円)
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源	
H30		3,300	3,300				3,300	0	
目的	対 象			意 図					
	日体大高等支援学校に入学する生徒の保護者			開校間もない日体大高等支援学校への入学者数の増大を図り、安定した学校教育を支援します。					
内取 容組		入学者1名につき、15万円を助成します。							
実績		・補助対象人数：22名 ・補助金額：3,300千円							
方今 向後 性の		引き続き、日体大高等支援学校の入学者の確保を図ります。							

事業名： 日体大高等支援学校運営費補助金 担当部署： 企画調整課 企画係

年度		予算現額	決算額	財源内訳				(単位：千円)
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		23,000	23,000				23,000	0
目的	対 象		意 図					
	日体大高等支援学校		日体大高等支援学校の経営安定化と特別支援教育の向上を図ります。					
内取 容組		日体大高等支援学校の運営に要する経費として、新規開校のために在籍生徒が存在しない学年の定員数及び教職員数に応じて補助金を交付します。						
実績		補助金額：23,000千円 ・生徒40名分（在籍生徒不在の学年（3学年）の定員数） ・教職員30名分（教職員配置計画を参考に定める教員数）						
方今 向後 性の		平成30年度で完了しました。						

事業名： 学習支援員配置事業

担当部署： 学校教育課 学務係

			財源内訳				(単位：千円)	
年度	予算現額	決算額	国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源	
H30	17,668	17,636				17,636	0	
目的	対 象		意 図					
	児童及び生徒		習熟度別少人数指導や補充学習に取り組むことで、学習内容の基本・基礎を定着させます。					
内取 容組	児童及び生徒の学力向上のため、教員免許所有者を嘱託として学校に配置します。							
実績	・ 小学校4名（中央小、西小、南小、潮見小 各1名） ・ 中学校2名（第二中、第三中 各1名）							
方今 向後 性の	引き続き、児童及び生徒の学習意欲・学力の向上に努めます。							

事業名： あばしり寺子屋開催事業

担当部署： 学校教育課 学務係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		95	76				76	0
目的	対 象			意 図				
	1～3年生の児童			参加児童の学習課題の把握、低学年からの学習習慣の定着を図ります。				
内取 容組	東京農業大学生物産業学部と連携し、学生ボランティアによる小学1～3年生を対象としたサポート授業を行います。							
実績	・実施回数：6回 ・延べ参加人数：112名（1年生 27名、2年生 42名、3年生 43名）							
方今 向後 性の	引き続き、児童の学力・学習意欲の向上に努めます。							

事業名： 小中学校特別支援教育支援員配置事業（2事業） 担当部署： 学校教育課 学務係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		29,249	28,041				4,498	23,543
目的	対 象		意 図					
	特別な支援を必要とする児童及び生徒		児童及び生徒個々の適正に応じた柔軟な教育の推進を図ります。					
内取 容組	小中学校の通常学級、特別支援学級及び通級指導教室における、教育上特別な支援を必要とする児童及び生徒への指導補助及び運営支援を行う支援員を配置します。							
実績	・ 支援員配置数：小学校21名（網走小3名、中央小3名、西小3名、南小3名、潮見小8名、西が丘小1名） 中学校 4名（第一中1名、第二中1名、第三中2名） ・ 支援内容：発達障がい児童及び生徒に対する学習支援、健康・安全確保 基本的な生活習慣確立のための日常生活上の介助、学習活動・教室間移動等における介助							
方今 向後 性の	特別な支援を要する児童及び生徒が増加傾向にあり、支援員の配置を通して学校教育全体の支援を継続します。							

事業名： 子ども体力づくりサポート事業

担当部署： 学校教育課 学務係

年度		予算現額	決算額	財源内訳				(単位：千円)
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		320	131				131	0
目的	対 象			意 図				
	児童			「できる喜び」を体得する中で、運動の習慣付けや基礎体力の定着を図ります。				
内取 容組	学校法人日本体育大学から小学校へ体育科授業の講師を派遣します。							
実績	講師派遣先（指導学年） 網走小（3年生）、南小（3年生）、西が丘小（3～4年生）							
方今 向後 性の	学校法人日本体育大学と連携し、児童の体力の向上・教職員の体育科授業の指導力向上を図ります。							

事業名： コミュニティスクール導入促進事業

担当部署： 学校教育課 学務係

年度		予算現額	決算額	財源内訳				(単位：千円)
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		167	36					36
目的	対 象			意 図				
	児童及び生徒			地域の声を学校運営に活かしながら、学校と地域が一体となって特色ある学校づくりを進め、子どもたちの学びや体験の充実を図ります。				
内取 容組	全ての小中学校をコミュニティ・スクール（学校運営協議会を設置した学校）とするため、地域や学校関係者を対象とした説明会を開催するとともに、順次、体制の整った地域の学校に学校運営協議会を設置します。							
実績	①コミュニティ・スクール説明会（9月28日） ・参加者数：第1部（教職員向け）65名、第2部（地域・保護者向け）74名 ②平成31年4月から設置される学校運営協議会：3協議会 ・西部地区学校運営協議会（西が丘小、第五中） ・東部三校学校運営協議会（東小、白鳥台小、第四中） ・呼人地区学校運営協議会（呼人小中）							
方今 向後 性の	令和2年度までに、全ての学校をコミュニティ・スクールとします。							

事業名： 小中学校改修事業（2事業）

担当部署： 学校教育課 庶務係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		57,979	55,382			50,200	5,162	20
目的	対 象			意 図				
	児童及び生徒			学校施設の長寿命化を図り、児童及び生徒に良好な学習環境を維持します。				
内取 容組	老朽化した施設を改修します							
実績	①高圧受電設備の改修（西小） 33,588千円 ②防火扉の改修 16,632千円 （網走小、潮見小、西小、中央小、南小、東小、西が丘小、呼人小中：14,300千円） （第一中、第三中、第四中、第五中）：2,332千円 ③学校図書館の改修（白鳥台小） 5,162千円							
方今 向後 性の	改修計画に基づき学校施設や設備の長寿命化を図り、安全安心な学習環境を維持します。							

事業名： 小学校ＩＣＴ教育環境整備事業

担当部署： 学校教育課 庶務係

年度		予算現額	決算額	財源内訳				(単位：千円)
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		8,601	8,449	3,229			5,220	0
目的	対 象			意 図				
	児童			小学校普通教室での無線LAN環境の構築により、授業におけるICT機器の利用を促進することで、良好な学習環境を作ります。				
内取 容組		小学校普通教室に無線LAN環境を構築します。						
実績		①普通教室無線LAN環境（アクセスポイント）整備（全小学校） 6,458千円 ②教員用タブレット端末整備（全小学校、38台） 1,991千円						
方今 向後 性の		時代に即したICT機器の整備と活用に努めます。						

事業名： 小中学校校務支援システム管理事業（２事業）

担当部署： 学校教育課 学務係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		6,137	6,134					6,134
目的	対 象			意 図				
	教職員			教職員の事務の効率化を図り、良好な教育環境を作ります。				
内取 容組	校務用パソコンへ校務支援システムを導入します。							
実績	・モデル校（東小）に先行導入（6月） ・全ての小中学校にへ導入（7月） （主な業務内容）学籍管理、出席簿、学校日誌、成績管理							
方今 向後 性の	平成31年4月より校務支援システム本格運用し、システムを活用した業務改善に取り組みます。							

事業名： 小中学校教材教具費（２事業）

担当部署： 学校教育課 学務係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		36,375	33,904	2,643				31,261
目的	対 象			意 図				
	児童及び生徒			授業等で使用する教材教具や消耗品、教職員が使用する指導書を購入し、質の高い授業を通じ、学力の向上を図ります。				
内取 容組	①小中学校教師用指導書・教科書の整備 ②小学3年生向け社会科副読本「あばしり」の作成 ③小中学生向け教材の購入							
実績	①小学校教師用指導書、教科書の購入（1,389千円） ②社会科副読本「あばしり」の増刷（1,361千円） ③教材の購入（小学校15,671千円、中学校12,823千円）							
方今 向後 性の	今後も学校運営に必要な教材等の整備に努めます。							

目標	4 豊かなひとを育むまち	取組分野	社会教育
----	--------------	------	------

事業名： 図書館資料整備事業 担当部署： 図書館 図書係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		9,917	9,917				22	9,895
目的	対 象		意 図					
	市民		図書資料の充実を通して、図書館の魅力向上を図ります。					
内 取 容 組		市民が読書に親しむ環境や生涯学習に役立つ情報を提供するため、図書資料（図書・雑誌・新聞・視聴覚資料）を収集整備します。						
実 績		①図書の購入 ：4,287冊（うち、リクエスト図書 605冊） ②新聞・雑誌の購入：新聞9紙、雑誌1,370冊 ③視聴覚資料の購入：56点 ④地方資料の購入 ：84冊 【参考：平成30年度末蔵書数 201,856冊】						
方 今 向 後 性 の		内容が古くなった図書の除籍を進めながら、地方資料を含めた魅力ある図書資料の収集を継続します。						

事業名： 放課後子ども教室推進事業 担当部署： 社会教育課 生涯学習係

年度		予算現額	決算額	財源内訳				(単位：千円)
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		7,133	6,735		3,218			3,517
目的	対 象		意 図					
	小学生		子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するため、安全で安心して活動できる居場所を地域の力で創出します。					
内 取 容 組		放課後に勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流などを行う放課後子ども教室を設置します。						
実 績		・ 委託先 ： N P O 法人ほか市民が組織する実行委員会 ・ 教室開催数： 399回 ・ 参加登録数： 254名（スポーツクラブ教室106名、キッズコール教室16名、オコック教室83名、こどもみらい教室29名、ひなたぼっこ教室20名）						
方 今 向 後 性 の		引き続き、地域の指導者や活動場所の確保に取り組みます。						

事業名： 子ども夢育事業 担当部署： 社会教育課 生涯学習係

年度	予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30	1,167	874				874	0
目的	対 象		意 図				
	中学生		中学生を対象に文化講演を開催し、「夢を持って生きること」の大切さを学び、感性豊かな心を育むことで、たくましく生きる力を形成することを目指します。				
内取 容組	夢や人生、命などをテーマにした講演会を開催します。						
実績	・講師名：森本稀哲氏 ・講演名：「コンプレックスからの脱却～どんな逆境にも負けない心～」 ・開催日および会場：11月29日 エコーホール ・参加者数：市内全中学校6校の2年生、教職員318名（中学2年生218名、教職員38名）						
方今 向後 性の	「夢を持って生きること」の大切さを学ぶ場を提供できるよう、今後も学校と連携しながら取り組みます。						

目標	4 豊かなひとを育むまち	取組分野	3. 文化
----	--------------	------	-------

事業名： 若手アーティスト作品展示事業 担当部署： 美術館 管理係

年度		予算現額	決算額	財源内訳					(単位：千円)
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源	
H30		400	311					311	
目的	対 象			意 図					
	市民及び若手美術家			網走地方に縁のある若手美術家などを応援します。					
内 取 容 組		若手美術家の作品を公共施設の屋内外に展示します。							
実 績		・作家名：所 彰宏 氏 ・作品名：「血は混じりあう」 (版画 サイアノタイプ) ・展示場所：エコーセンター							
方 今 向 後 性 の		若手美術家を応援するとともに、展示作品の充実を図ります。							

事業名： クラシック音楽鑑賞会事業補助金 担当部署： 社会教育課 生涯学習係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		1,500	1,500					1,500
目的	対 象			意 図				
	市民			優れた音楽の鑑賞機会を通じ、芸術文化の振興を図ります。				
内 取 容 組		市民実行委員会が行う優れたクラシック音楽鑑賞会の開催を支援します。						
実 績		・ 補助対象者 ： 網走市クラシック音楽鑑賞会実行委員会 ・ 補助対象事業 ： 東京吹奏楽団網走公演 ・ 開催日および会場： 6月10日 エコーホール ・ 入場者数 ： 322名						
方 今 向 後 性 の		引き続き、優れたクラシック音楽鑑賞機会の創出に取り組めます。						

事業名： オホーツク・文化交流センター芸術文化事業 担当部署： 社会教育課 生涯学習係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)																													
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源																									
H30		5,887	5,703		700		2,974	2,029																									
目的	対 象			意 図																													
	市民			芸術文化の鑑賞機会を企画段階から市民に参画してもらい、優れた芸術文化の鑑賞機会を通じた芸術文化の振興を図ります。																													
内取 容組	さまざまな分野（洋楽、邦楽、古典芸能など）を対象に企画段階から市民に参画してもらう舞台芸術の鑑賞事業を開催します。																																
実績	<table><tr><td>①Den3コンサートin網走</td><td>7月22日</td><td>入場者数</td><td>333名</td><td>(エコーホール)</td></tr><tr><td>②土田英順チャリティコンサート</td><td>7月7日</td><td>入場者数</td><td>55名</td><td>(アトリウムロビー)</td></tr><tr><td>③親子クラシック2018</td><td>10月5日</td><td>入場者数</td><td>221名</td><td>(エコーホール)</td></tr><tr><td>④上原彩子ピアノ・リサイタル</td><td>10月8日</td><td>入場者数</td><td>168名</td><td>(エコーホール)</td></tr><tr><td>⑤イナダ組×EverZ0ne演劇「キャラメルマキアート」</td><td>3月9日</td><td>入場者数</td><td>383名</td><td>(エコーホール)</td></tr></table>								①Den3コンサートin網走	7月22日	入場者数	333名	(エコーホール)	②土田英順チャリティコンサート	7月7日	入場者数	55名	(アトリウムロビー)	③親子クラシック2018	10月5日	入場者数	221名	(エコーホール)	④上原彩子ピアノ・リサイタル	10月8日	入場者数	168名	(エコーホール)	⑤イナダ組×EverZ0ne演劇「キャラメルマキアート」	3月9日	入場者数	383名	(エコーホール)
①Den3コンサートin網走	7月22日	入場者数	333名	(エコーホール)																													
②土田英順チャリティコンサート	7月7日	入場者数	55名	(アトリウムロビー)																													
③親子クラシック2018	10月5日	入場者数	221名	(エコーホール)																													
④上原彩子ピアノ・リサイタル	10月8日	入場者数	168名	(エコーホール)																													
⑤イナダ組×EverZ0ne演劇「キャラメルマキアート」	3月9日	入場者数	383名	(エコーホール)																													
方今 向後 性の	市民と行政の連携による鑑賞事業を行うとともに、多様な芸術文化の鑑賞機会を提供します。																																

事業名： 博物館重要文化財指定推進事業

担当部署： 博物館 管理係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		3,600	3,600				3,600	0
目的	対 象			意 図				
	市民及び観光客			博物館建造物の重要文化財指定を目指し、建物の文化財的価値を高めます。				
内取 容組	博物館建物の外観を改修します。							
実績	屋根・窓枠等の塗装工事を実施（5～7月）							
方今 向後 性の	博物館建物に係る講演会等を実施し、建物の文化財的価値の周知に取り組みます。							

事業名： 博物館網走監獄耐震診断補助金

担当部署： 博物館 管理係

年度		予算現額	決算額	財源内訳				(単位：千円)
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		8,100	8,100		6,400			1,700
目的	対 象			意 図				
	市民及び観光客			重要文化財建造物の保護思想の啓発を図ります。				
内取 容組		博物館網走監獄の重要文化財建造物耐震診断調査に係る費用を補助します。						
実績		・補助対象者：公益財団法人博物館網走監獄保存財団 ・補助対象事業：博物館網走監獄重要文化財建造物の耐震診断調査（4月～3月） 地盤の地質調査、建造物の構造・耐震調査、補強案の検討等						
方今 向後 性の		引き続き、市内文化財の保護・啓発に努めます。						

目標	4 豊かなひとを育むまち	取組分野	4. スポーツ
----	--------------	------	---------

事業名： 陸上競技場備品整備事業 担当部署： スポーツ課 管理係

年度		予算現額	決算額	財源内訳				(単位：千円)
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		1,000	972				972	0
目的	対 象			意 図				
	市民			施設の利用環境を改善し、市民の健康・体力の維持増進を図ります。				
内取 容組		陸上競技場を快適に利用できるよう、施設備品を整備します。						
実績		超音波風速計の導入（1台）						
方今 向後 性の		快適な利用環境を保つため、適正な施設の整備や維持管理に努めます。						

事業名： バスケットゴール整備事業 担当部署： スポーツ課 管理係

事業名：バスケットゴール整備事業			担当部署：スポーツ課			管理課	
年度	予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30	8,586	8,586				8,586	0
目的	対 象		意 図				
	市民		施設の利用環境を改善し、市民の健康・体力の維持増進を図ります。				
内取 容組	総合体育館を快適に利用できるよう、施設備品を整備します。						
実 績	移動式バスケットゴールの更新（1対）						
方今 向後 性の	平成30年度で完了しました。						

事業名： スポーツ・トレーニングフィールド遊具更新事業 担当部署： スポーツ課 管理係

年度			予算現額		決算額		財源内訳			(単位：千円)	
年度			予算現額		決算額		国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30			1,905		1,890						1,890
目的			対 象			意 図					
			市民（主に子ども）			多様な世代の施設利用を促進し、市民の健康・体力の維持増進を図ります。					
内取 容組			スポーツ・トレーニングフィールドを快適に利用できるよう、老朽化した遊具の更新を行います。								
実績			①おもしろ自転車更新 4台 ②障がい者向けペダル付車いす導入 1台								
方今 向後 性の			利用状況や費用対効果を踏まえながら、施設の整備や維持管理に努めます。								

事業名： スキー場リフト改修事業

担当部署： スポーツ課 管理係

年度			予算現額		決算額		財源内訳				(単位：千円)			
							国支出金		道支出金		地方債		その他	
H30			3,000		2,916								2,916	
目的	対 象					意 図								
	市民					施設の適正な管理により、市民の健康・体力の維持増進を図ります。								
内取 容組			スキー場を快適に利用できるよう、設備を改修します。											
実績			第2リフト非常用制動機を改修											
方今 向後 性の			平成30年度で完了しました。											

事業名： 地域プール整備事業

担当部署： スポーツ課 管理係

			財源内訳					(単位：千円)
年度	予算現額	決算額	国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源	
H30	11,474	11,448			8,500	2,948	0	
目的	対 象		意 図					
	市民		施設の適正な管理により、市民の健康・体力の維持増進を図ります。					
内取 容組	西地域プールを快適に利用できるよう、施設及び設備を整備・改修します。							
実 績	①ろ過装置の更新 ②ろ過配水管の改修							
方今 向後 性の	平成30年度で完了しました。							

事業名： 「夢の教室」開催事業

担当部署： スポーツ課 スポーツ振興係

年度		予算現額	決算額	財源内訳					(単位：千円)
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源	
H30		2,256	2,250				2,250		0
目的	対 象			意 図					
	小学5年生（一部、小学4・6年生含む）			「夢を持つことの大切さ」や「仲間と協力することの大切さ」などを、講義と実技を通じて子どもたちに伝え、児童の健全な育成を図ります。					
内取 容組	トップアスリート等が「夢先生」として市内全小学校を訪問し、「夢の教室」を開催します。								
実 績	実施概要：呼人小 ～参加者数 11名1クラス（複式） アイスホッケー 高嶋遥さん (8月29日) 南小 ～参加者数 24名1クラス アイスホッケー 高嶋遥さん (8月29日) 参加者数 24名1クラス キックボクシング 寺崎直樹さん (8月30日) 潮見小 ～参加者数 36名1クラス キックボクシング 寺崎直樹さん (8月30日) 参加者数 36名1クラス スケルトン 小口貴子さん (8月31日) 西が丘小 ～参加者数 11名1クラス スケルトン 小口貴子さん (8月31日) 西小 ～参加者数 16名1クラス 水泳 加藤和さん (1月23日) 白鳥台 ～参加者数 15名1クラス（複式） 水泳 加藤和さん (1月23日) 中央小 ～参加者数 38名1クラス ラグビー 西山淳哉さん (2月19日) 網走小 ～参加者数 23名1クラス ラグビー 西山淳哉さん (2月19日) 参加者数 24名1クラス リュージュ 小口貴久さん (2月20日) 東小 ～参加者数 11名1クラス（複式） リュージュ 小口貴久さん (2月20日)								
	方今 向後 性の								
	児童の健全な育成を図るため、継続して取り組みます。								

事業名： 東京オリパラホストタウン構想推進事業

担当部署： スポーツ課 スポーツ振興係

年度		予算現額	決算額	財源内訳			(単位：千円)	
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		715	715					715
目的	対 象			意 図				
	市民			東京オリンピックパラリンピックの大会参加国・参加選手との交流などを行い、地域の活性化を図ります。				
内取 容組	東京オリンピックパラリンピックの「ホストタウン」に登録し、事前・直前合宿を誘致するとともに、大会参加国・参加選手等との交流機会を創出します。							
実績	①韓国陸上連盟と「東京2020オリンピック競技大会出場選手の合宿に関する協定」を締結 (ホストタウン対象国に追加登録) ②韓国陸上チームの事前合宿支援 (宿泊場所、移動手段の手配、確保及び経費負担)							
方今 向後 性の	引き続き、東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンとして、出場選手や日本人オリンピックとの交流、講演会等の開催、事前・直前合宿の誘致活動を行います。							

目標	4 豊かなひとを育むまち	取組分野	5. 交流
----	--------------	------	-------

事業名： 姉妹都市交流事業補助金

担当部署： 企画調整課 企画係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		600	450					450
目的	対 象			意 図				
	市民（網走・ポートアルバーニ姉妹都市交流協会）			姉妹都市であるカナダ・ポートアルバーニ市との交流を通じ、豊かな国際感覚を持った人づくりを進めるとともに、両市の相互理解と友好を深めます。				
内取 容組	網走・ポートアルバーニ姉妹都市交流協会が実施する訪問団派遣事業について補助します。							
実績	・補助対象者 参加人数11名、派遣職員1名 ・補助金額 450千円 ・補助内容 ポートアルバーニ市への青少年訪問団の派遣							
方今 向後 性の	引き続き、カナダ・ポートアルバーニ市との姉妹都市交流を推進します。							

目標	5	ともに歩み、築く協働のまち	取組分野	1. 地域協働
----	---	---------------	------	---------

事業名： 女性・高齢者就労支援事業

担当部署： 商工労働課 商工労働係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		350	325					325
目的	対 象			意 図				
	女性及び高齢者、企業者			労働力の確保に向けて、女性と高年齢者の就労を促進します。				
内取 容組	①女性の就労や起業を促進する内容のセミナーを開催する団体を支援します。 ②概ね55歳以上の男女を対象に、合同企業説明会を開催します。							
実績	①つながろうオホーツク女性のおしごと見本市（4月28日開催） 講師：安西 ゆかり氏 参加者数：120名 主催：オホーツクキャリアデザインフォーラム実行委員会 ②高年齢者向け合同企業説明会（8月18日開催） 参加事業所数：9社 参加者数：27名 雇用実績：4名（9社のうち4社で各1名雇用）							
方今 向後 性の	網走商工会議所及び網走公共職業安定所等と連携し、女性や高年齢者の就労意識の高揚を図り、労働力の確保に努めます。							

事業名： 網走市食品加工体験センター管理運営事業

担当部署： 市民活動推進課 市民活動推進係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
H30		11,490	10,602				1,408	9,194
目的	対 象			意 図				
	市民			安心安全な食品知識の習得、手づくり体験を通じて地産地消等の食育の推進を図ります。				
内取 容組		専門的な調理・加工機器を使い、地域食材等を手軽に手づくり食品に加工することで、手づくりの楽しさ、美味しさを体験してもらえよう、講座の開催、レシピの作成などを行います。						
実績		・利用人数：2,400名 ・稼働日数：288日（開館日数297日） ・稼働率：97% ・講座開催数：17回、参加者数：160名（みんなの講座11回／130名、日曜パン講座5回／30名）						
方今 向後 性の		利用者や網走市食品加工体験センター運営懇話会等の意見を参考としながら、今後も施設の運営に努めます。						

市有財産整備特別会計

目的	市有財産(土地・建物等)の管理及び造成のほか、売却や貸付等を行い、市有財産の有効的な活用を図ります。		
主な取組内容	①市有地の売却 売却可能な土地については、計画的に適正な価格で売却します。 ②市有財産(土地・建物)の貸付 未利用財産を借受希望者に対し貸し付け、有効利用を図ります。 ③潮見住宅団地対策事業 ④ソーラー発電所用地の貸付		
主な実績	(1) 収入の状況 ①市有地の売却 5,026千円 3件 665.38㎡ (うち、1件570千円 92㎡は公共下水道特別会計へ有償所管換え) ②貸付料収入 25,982千円 115件 ・土地建物貸付料 12,743千円 46件 ・貸地料 13,239千円 69件 (2) 支出の状況 ①潮見住宅団地対策費 12,894千円 (3) ソーラー発電所用地の誘致状況 ① 貸付 ・能取港町地区 三井物産(株) 貸付面積 44,982㎡ 平成24年10月1日から20年間の貸付 年間貸付料 449,820円 パネル容量 1,512kw 京セラ(株) 貸付面積 25,000㎡ 平成27年7月2日から20年間の貸付 年間貸付料 250,000円 パネル容量 1,759kw ・西山地区 K S コーポレーション北海道(株) 貸付面積 86,049㎡ 平成25年4月1日から20年間の貸付 年間貸付料 860,490円 パネル容量 1,555kw ・向陽ヶ丘地区 (株)ノースエナジー 貸付面積 1,562㎡ 平成29年2月28日から20年間の貸付 年間貸付料 141,634円 パネル容量 80.64kw ・呼人地区 (株)ノースエナジー 貸付面積 1,458㎡ 平成29年4月28日から20年間の貸付 年間貸付料 45,552円 パネル容量 80.64kw		
今後の方向性	遊休地の売却や借地契約者に対して買い取りを要請するなど、市有地の売却促進を図るほか、市有地管理経費の縮減に努め、財政の健全化を図ります。		

能取漁港整備特別会計

目的	能取漁港の背後地に造成した能取工業団地の施設管理及び土地の売却を行います。		
主な取組内容	①能取工業団地の維持管理を行います。 ・公害防止施設の管理 ・団地内街路灯等の管理 ②能取工業団地の土地の売却を行います。		
主な実績	①能取工業団地の維持管理 収入 ・公害防止施設使用料 12,954 千円 ・雑入 187 千円 支出 ・污水处理施設維持管理 13,089 千円 ②能取工業団地の土地の売却 近年の販売実績 ・日本天然素材株式会社 3,359 m ² (平成20年度 10,752千円) ・網走合同定置 2,000 m ² (平成20年度 6,221千円) ・日本ホワイトファーム株式会社 300 m ² (平成22年度 1,080千円) ・市有財産整備特別会計 52,962 m ² (平成23年度 235,000千円) ・市有財産整備特別会計 25,000 m ² (平成27年度 97,500千円) ・株式会社ノースエナジー 6,290 m ² (平成28年度 19,526千円) ・日本ホワイトファーム株式会社 8,400 m ² (平成28年度 23,814千円) ・株式会社WIND-SMILE 60,443 m ² (平成29年度 163,456千円) ・売却可能総面積 496,088 m ² うち、売却済面積 419,694 m ² うち、未売却面積 76,394 m ² ③特別会計経営に係る収支状況 実質収支 H30 ▲245,134 千円 H29 ▲247,535 千円		
今後の方向性	庁内関係部署及び経済団体等と情報交換を行い、効果的な企業立地(誘致)の推進に取り組みます。		